

第2章 海外事例追跡調査

1. 海外事例の動向

●主要カジノ保有地域の統計の整理

これまで実施してきたカジノ・エンターテイメント検討事業において収集・把握している統計値など各種資料・データ等（カジノ・エンターテイメント検討事業紹介サイトを）最新のものに更新する。

沖縄県のHPで紹介されているカジノを紹介するHPの更新をインターネットより可能な限り行う。

●海外事例視察報告

海外事例視察報告及び、各地の情報収集等を行い、整理する。

(1) 主要カジノ保有地域等の統計の整理

これまで実施してきたカジノ・エンターテイメント検討事業において収集・把握している統計値など各種資料・データ等（カジノ・エンターテイメント検討事業紹介サイトを）最新のものに更新する。

沖縄県のHPで紹介されているカジノを紹介するHPの更新をインターネットより可能な限り行う。また、ラスベガス（米国）、マカオ（中国）、シンガポール、クイーンズランド（豪州）、江原道（韓国）、マドリッド等（スペイン：視察先）の他、おもなカジノ運営会社について統計情報を整理する。

1)ラスベガス

ラスベガスコンベンションビューローの「年次報告概要」によると、初めてラスベガスを訪れた滞在者は全体の16%であり、2010年と比較して減少したとしている。約半数（47%）の滞在者が旅行の主要目的を休暇もしくは余暇と回答しており、2008～2009年との比較では増加しているが、2010～2011年比較では減少しているとしている。

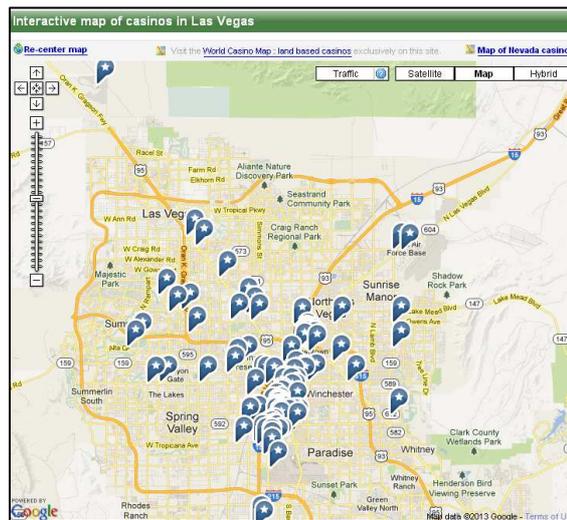
また、主要目的がゲーミングと回答した滞在者数の8%は2008～2009年比較において減少した。

リピーターの割合は43%で、初心者同様休暇や余暇を目的とした滞在であり、9%がゲーミング、14%は友人・親戚訪問（2008年より上昇）としている。

過去5年間比較における滞在者の割合は、2008年、2009年、2011年より5.8%減少している。また、平均滞在者数についても1.6ポイント減少している。



(出典) The Venetian Las Vegas DailyScreens
 (<http://www.dailyscreens.com/las-vegas-hotel-wallpaper.html>)



(出典) World casino directory
 (<http://www.worldcasinodirectory.com/nevada-casinos/las-vegas/map>)

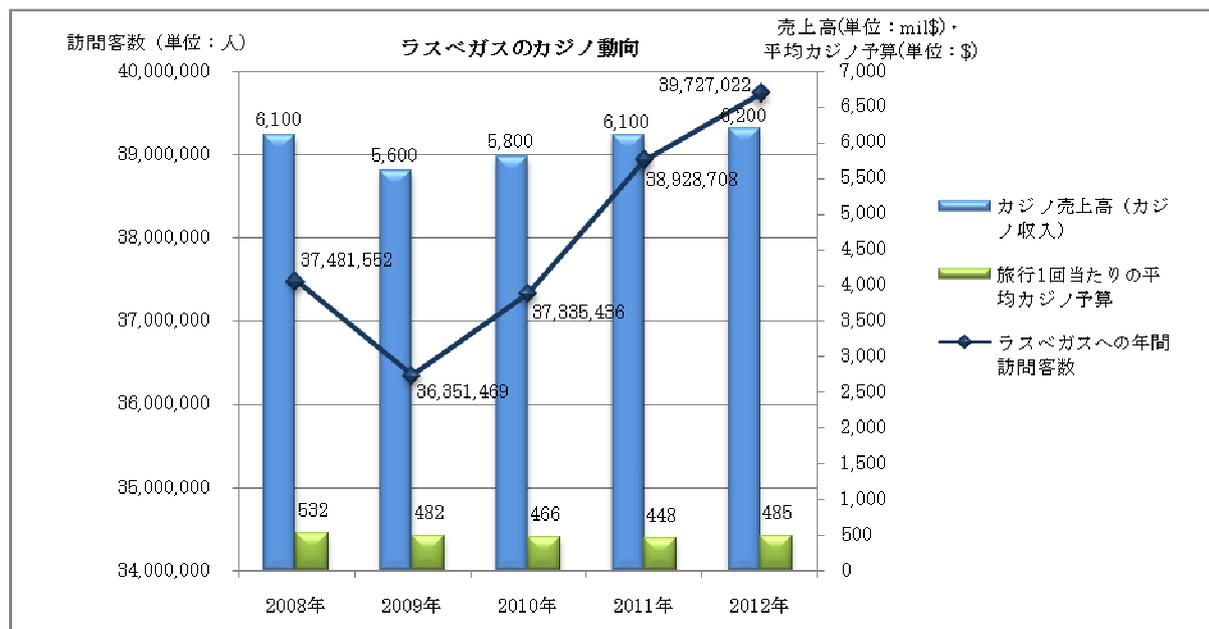
図表 ラスベガスにおける推移

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
ラスベガスへの年間訪問客数	3,748万 1,552人	3,635万 1,469人	3,733万 5,436人	3,892万 8,708人	3,972万 7,022人
カジノ売上高 (カジノ収入)	61億ドル	56億ドル	58億ドル	61億ドル	62億ドル
旅行1回当たりの 平均カジノ予算	532ドル	482ドル	466ドル	448ドル	485ドル
カジノ税率	3.5%~6.75%	同左	同左	同左	同左
年間のコンベンション参加者数	589万 9725人	449万 2275人	447万 3134人	486万 5272人	494万 4,014人
ホテル/モーテル客室数	14万 529室	14万 8941室	14万 8935室	15万 161室	15万 481室
ラスベガスのホテル平均 客室稼働率	89.8%	85.3%	83.5%	86.9%	87.4%
ラスベガスの週末の客室 稼働率	89.8%	88.8%	88.4%	90.9%	90.8%
ラスベガスの平日の客室 稼働率	84.3%	78.2%	76.8%	80.7%	81.6%
全米の平均客室稼働率	60.4%	55.1%	57.6%	60.1%	61.4%
航空会社の乗降客数	4,407万 4,707人	4,046万 9,012人	3,975万 7,359人	4,147万 9,814人	4,166万 7,596人
主要ハイウェイを利用する 1日当たりの交通量	8万 2093台	8万 4115台	8万 6738台	9万 9844台	10万 774台
平均宿泊料金	119ドル	93ドル	95ドル	105ドル	108ドル
平均滞在日数	3.5泊	3.6泊	3.6泊	3.7泊	3.3泊
初めて訪れる旅行者の割合	16%	17%	18%	16%	16%
旅行者の平均年齢	50.6歳	50.0歳	49.2歳	49.0歳	45.0歳
海外からの旅行者の割合	15%	14%	18%	16%	17%

※金額の単位はアメリカドル (US\$) である。

(出典) Las Vegas Convention and Visitors Authority (<http://www.lvcva.com/stats-and-facts/>)

図表 ラスベガスのカジノ動向



(出典) Las Vegas Convention and Visitors Authority (<http://www.lvcva.com/stats-and-facts/>)

2) マカオ

カジノ情報関連サイトによると、「2002年にカジノ経営権の国際入札を実施し、それまでスタンレー・ホーが経営する「Sociedade de Turismo e Diversões de Macau, S.A. (澳門旅遊娛樂股份有限公司)」が独占してきたカジノ経営権が、香港系の「ギャラクシー・カジノ (銀河娛樂場)」とアメリカの「ウィン・リゾーツ (永利渡假村)」にも開放された」ことで、「外国からの投資が急増し、リズボア (Lisboa)、グランド・リスボア (Grand Lisboa)、ウィン・マカオ (Wynn)」、新たに埋め立て開発されたコタイ・ストリップのザ・ベネチアン・マカオ (Venetian Macao-Resort-Hotel)、シティ・オブ・ドリームズ (The City of Dreams) など 20 以上の大規模カジノが運営されているとしている。

最近では、「サンズ・コタイ・セントラル」がオープン、コタイ地区最大の I R として整備された。当該 I R は、3つのホテルで成り立ち、コンラッドによる 5つ星ホテル、636室、ホリデイインによる 4つ星ホテル、1224室、シェラトンによる 3,863室となっている。2012年4月の第1フェーズでコンラッドとホリデイイン、会議施設、飲食施設、ヒマラヤカジノとVIP用ゲーミングエリアをオープン、第2フェーズAでは、同年9月にシェラトンブランド傘下のスターウッドにより 1,796室、パシフィカカジノとエンターテインメント、ダイニング、会議施設をオープン。2013年1月の第2フェーズB開発では、シェラトンホテルタワーとして新たに 2,067室をオープンした。現在第3フェーズのプロジェクトに取り組んでいる。2012年12月末日現在、サンズ・コタイ・セントラルのカジノは、VIPルームを含む 27,528㎡敷地面積に、460テーブルゲーム、1,804のスロットマシンを有し、最大 6,500万人の客が訪れている。

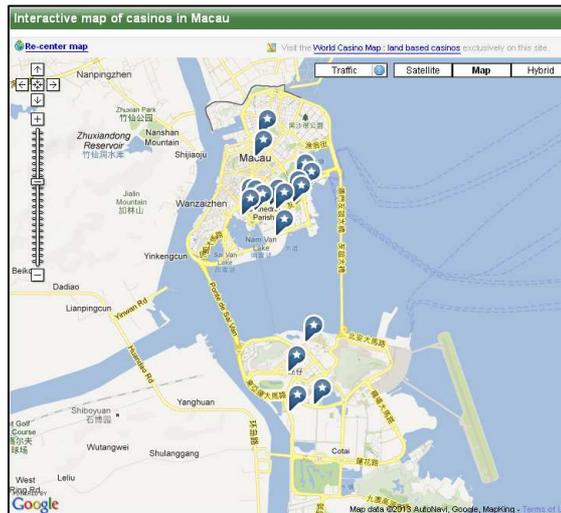
(参考) リゾカジ (<http://resocasi.com/specialdetail?id=40>)

(参考) Sands China Ltd. 2012 Annual Report

(http://www.sandschina.com/export/sites/default/en/investor_information/2013/03/21/Annual_Report_2012/477879_as_printed_15Mar_1750.pdf)



(出典) AllAbout サンズコタイセントラル マカオ
 (http://allabout.co.jp/gm/gc/393846)



(出典) World casino directory
 (http://www.worldcasinodirectory.com/macau/map)

図表 マカオの推移

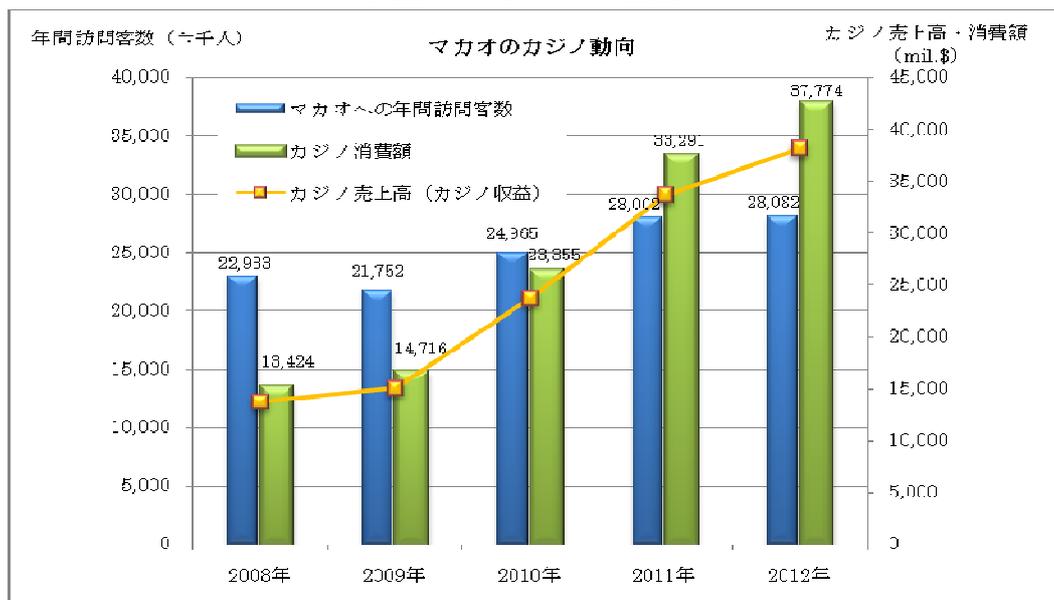
	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
年間訪問客数(人)	2,293万3,185	2,157万2,751	2,496万5,411	2,800万2,279	2,808万2,292
下段は成長率		-5.1%	+14.8%	+12.2%	+0.3%
旅行消費額(million \$)	16,912.0	17,998.6	27,684.0	38,435.5	43,706.6
下段は成長率	+14.2%	+4.4%	+47.9%	+30.3%	+6.8%
うちカジノ消費額(million \$)	13,424.0	14,716.1	23,355.2	33,291.1	37,774.2
下段は成長率	+20.8%	+8.3%	+54.2%	+34.6%	+6.9%
一人当たりの観光消費額(\$)	216.1	202.0	189.8	202.4	233.0
下段は成長率	+5.6%	-6.5%	-6.1%	+6.7%	+15.1%
カジノ収益(million \$)	13,728.3	15,047.9	23,698.5	33,632.3	38,154.4
下段は成長率	+31.0%	+9.6%	+57.5%	+41.9%	+13.4%
カジノ税収(million \$)	4,945.5	5,233.8	8,125.5	11,764.0	13,373.7
下段は成長率	34.8%	5.8%	+55.3%	+44.8%	+13.7%
カジノ税率	35%	同左	同左	同左	同左
カジノ場数	31	33	33	34	35
ゲーミングテーブル数	4,017	4,770	4,791	5,302	5,485
スロットマシン数	11,856	14,363	14,050	16,056	16,585
平均滞在日数(括弧内は宿泊者平均)	-	-	-	1.0 (2.0)	1.0 (1.9)

※金額の単位はアメリカドル(US\$)である。

(出典) Government of Macao Special Administrative Region Statistics and Census Service
 (http://www.dsec.gov.mo/TimeSeriesDatabase.aspx)

(出典) Macau Tourism Industry Net Key Indicators 2008-2012(数値は平成25年3月現在掲載分)
 (http://industry.macautourism.gov.mo/en/Statistics_and_Studies/list_statistics.php?id=39,29&page_id=10)

図表 マカオのカジノ動向



(出典)Government of Macao Special Administrative Region Statistics and Census Service

(<http://www.dsec.gov.mo/TimeSeriesDatabase.aspx>)

(出典)Macau Tourism Industry Net Key Indicators 2008-2012(数値は平成 25 年 3 月 18 日現在掲載分)

(http://industry.macautourism.gov.mo/en/Statistics_and_Studies/list_statistics.php?id=39,29&page_id=10)

3) シンガポール

シンガポール観光局の年次報告概要によると、I R 導入後、2010 年に 11.6 百万人、2011 年には 13.2 百万人の観光客が訪れた。導入前と比較すると 20.2%、導入後は 13.1%の成長がみられたとしている。

また、2010 年の観光収入は 18 億 9 千万シンガポールドルとなっており、これは 2009 年比較で 49.7%の成長となっている。2011 年の観光収入については前年度と比較して 17.7%成長しており、22 億 3 千万ドルとなっている。

他に、滞在日数比較として、2010 年の前年度比較では、滞在客が 9.3%成長し、49.1 百万人となったのに対し、宿泊日数は 2010 年では 3.86 日であったが、2011 年では 3.73 日で、3.4%の減少となった。



Marina Bay Sands

(出典)YourSingapore

(<http://www.yoursingapore.com/content/traveller/en/browse/see-and-do/family-fun/attraction/marina-bay-sands.html>)



Resorts world sentosa

(出典)agoda

(http://www.agoda.jp/asia/singapore/singapore/resorts_world_sentosa_hard_road.html)

図表 シンガポールの推移

		2009年	2010年	2011年	2012年
年間訪問客数		9,682,690人	11,638,663人	13,171,303人	14,400,000人
カジノ開設数		-	2	同左	同左
MBS 売上高 (US million \$)		-	1,263	2,922	2,886
MBS うちカジノ売上高 (US million \$)		-	1,062	2,365	2,272
RWS 売上高 (US million \$)		-	2,019	2,515	2,355
カジノ税率			5.0 または 15%	同左	同左
観光収入 (billion S\$)		12.8	18.9	22.3	未公表
観光消費額 (million S\$)		12,441	14,918	16,887	未公表
一人当たりの観光消費額 (S\$)		1,285	1,281	1,282	未公表
宿泊先稼働率 (単位%)		76	85	86	未公表
宿泊施設数		42,719	47,312	49,719	未公表
平均滞在日数 (単位: 日)		4.0	3.86	3.73	未公表
観光の主要目的 (単位: %)	休暇	36	35	38	未公表
	ビジネス	25	25	22	未公表
	友人・親戚訪問	15	15	14	未公表
	会議 (MICE)	2	2	2	未公表

※金額の単位はアメリカドル (US\$) またはシンガポールドル (S\$) である。

※RWS 売上高のドル換算値については、JETRO シンガポールによるゲンティンプレスリリース (平成 25 年 3 月付) より米ドル通貨にて整理、掲載されている。(出展) JETRO (<http://www.jetro.go.jp/world/asia/sg/reports/07000941>)

※MBS 売上高のドル換算値については、JETRO シンガポールによるラスベガスサンズプレスリリース (平成 25 年 1 月付) より米ドル通貨にて整理、掲載されている。(出展) (<http://www.jetro.go.jp/world/asia/sg/reports/07000941>)

(出典) Department of Statistics SINGAPORE: (http://www.singstat.gov.sg/statistics/latest_data.html)

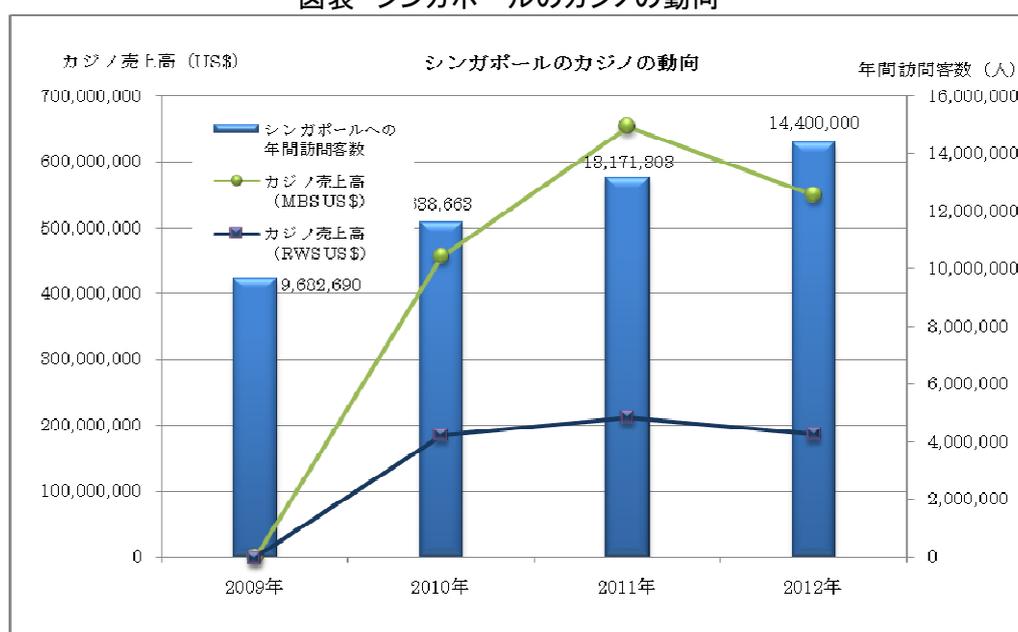
IR及びカジノ売上高

(出展) MBS (<http://investor.lasvegassands.com/results.cfm?Quarter=&Year=>)

(出展) RWS (<http://ir.gentingsingapore.com/phoenix.zhtml?c=154917&p=irol-reportsOther>)

(出展) Annual Report2010/2011 (<https://app.stb.gov.sg/asp/tou/tou03.asp>)

図表 シンガポールのカジノの動向



4) 江原道(カンウォンド: 韓国)

韓国内には 17 ヶ所のカジノが運営されている。順調な経営状態のカジノもあるが、韓国国内市場におけるカジノ場の設置数は既に飽和状態に達しており、カジノ場の中には経営状況が悪化している施設もある。

江原道に位置するハイワンリゾートは、宿泊客の望む安らかさを提供するため多様な客室から選択でき、デラックスルームは高級なインテリアで、リーズナブルな価格で利用できる。また、主に韓国国内客の専用カジノが併設されており、スキー場もオープンしている。

参考：リゾートカジノ <http://resocasi.com/special?id=55>



(出典) High 1 Resort Korea Be Inspired
(http://www.visitkorea.or.kr/enu/SI/SI_EN_3_1_1_1.jsp?cid=1391966)



(出展) Kangwonland casino, sabuk-eup
Jeongseon, Gangwon, Korea
(<http://www.panoramio.com/photo/64656227>)

図表 韓国の推移

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
ハイワンリゾート 従業員数	3,321	3,220	3,198	-	-
ハイワンリゾート 売上高 (KRW)	1,149,282,882,464	1,206,658,711,957	1,313,682,568,171	1,265,686,425,458	1,296,192,000,000
ハイワンリゾート 売上高 (US\$)	10,297,574.63	10,811,662.06	11,770,595.81	11,340,550.37	11,613,880.32
ハイワンリゾート 純利益 (KRW)	309,254,549,124	390,000,453,379	421,784,662,770	381,175,312,522	306,228,000,000
ハイワンリゾート 純利益 (US\$)	277,092,076	349,440,406.20	377,919,057.80	341,533,080	274,380,288
カジノ税率	10又は20.0%	同左	同左	同左	同左
観光客数 (人)	6,890,841	7,817,533	8,797,658	9,794,796	11,140,028
観光収入 (US million \$)	9,719,100	9,782,400	10,321,400	12,396,900	14,176,200
観光消費 (US million \$)	14,580,700	11,040,400	14,291,500	15,544,100	15,736,900

※金額の単位はアメリカドル (US\$) または韓国ウォン (KRW) である。

※2012年観光客数は予測値としての掲載であった。

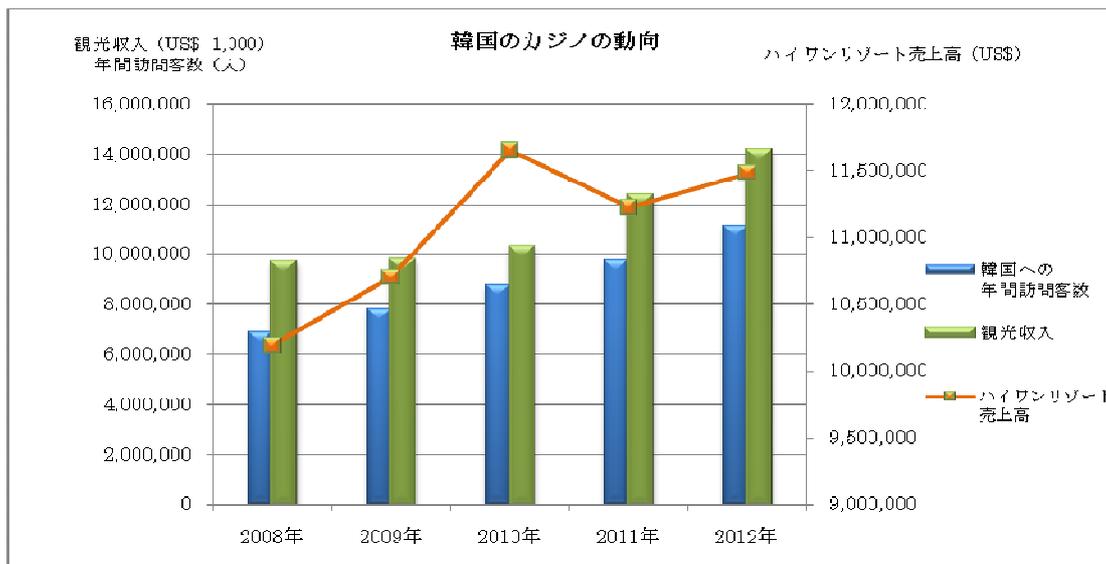
※ハイワンリゾートのドル換算数値については、韓国ウォン通貨を平成25年3月20日現在の為替レートより換算掲載。

(参考) (<http://ja.exchange-rates.org/Rate/KRW/USD/2013-03-20>)

(出展) 入域観光客数・観光収入・観光消費 (<http://kto.visitkorea.or.kr/eng/tourismStatics/keyFacts/visitorArrivals.kto>)
ハイワンリゾートの利益

(<http://kangwonland.high1.com/eng/financialStatement01/financial01-list.high1?year=2012&command=year&tab=1>)

図表 韓国のカジノの動向



5)クイーンズランド(豪州)

オーストラリアには全部で13のカジノ施設があるが、うちマシンは全体の6%の比率、また、その消費額は6.9%と低くなっている。カジノ産業においては、20,000人のオーストラリア人を雇用しており、政府税収の30%、すなわち12億円の効果がある。

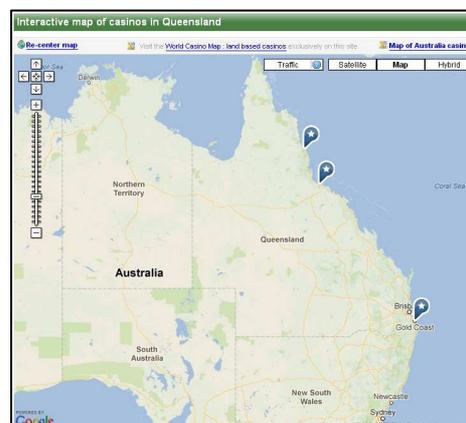
クイーンズランド州政府では、2020年までの目標を、2010年の150億ドルから300億ドルに成長させることとしている。2012年6月時点でクイーンズランド州に宿泊滞在者の消費額は177億ドルであった。前年同時期と比較して15.3%成長した。2011年はサイクロンヤシーによる広範な洪水で北部はかなりの打撃を受けた。2011年の報告では、2009年から2010年の利益は44億を超えている。カジノの総収入は、ゲーミング活動が78%を占めている。カジノと飲食、宿泊の3つのカテゴリがカジノ産業の収益の9割を担っている。また、海外のVIP客がゲーミング収益の多くを占めており、2009年から2010年で全体の20.1%となっている。他に、同年期において、カジノは11.6億ドルを国へ納入しており、前年比2.8%の増加であった。



(出典) Treasury casino & hotel World casino directory (<http://worldcasino.seesaa.net/article/302022827.html>)



(出典) Jupiters hotel & casino gold coast wotif.com (<http://www.wotif.com/hotels/jupiters-hotel-casino-gold-coast.html>)



(出典) World casino directory (<http://www.worldcasinodirectory.com/queensland/map>)

図表 クイーンズランド(豪州)の推移

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
QLDへの年間訪問客数(国内客)	7,560万人	4,750万人	4,970万人	5,000万人	5,770万人
QLDへの年間訪問客数(海外客)	約200万人	約200万人	約200万人	約200万人	約200万人
QLDの年間観光消費額(billion \$)	19.6	18.6	15.4	18.1	17.7
QLDのカジノ開設数	4	同左	同左	同左	同左
カジノ売上高(million \$)	36,171.063	37,861.052	37,561.689	未公表	未公表
一人あたりのカジノ売上高(\$)	8,877.48	9,068.10	8,790.40	未公表	未公表
カジノ税率	10-30%	同左	同左	同左	同左

※金額の単位はアメリカドル(US\$)である。

(参考)

QLD Government gaming statistics:

(<http://www.oesr.qld.gov.au/products/tables/qld-government-taxation-revenue/index.php>)

Casino turnover:

(http://www.oesr.qld.gov.au/search/search.cgi?collection=qld-gov&profile=oesr&num_ranks=10&tiers=off&meta_X_no_t=Yes&query=gaming+revenue 2012年12月現在リリース分報告書)

Tourism and Events Queensland: (<http://www.tq.com.au/about-tq/corporate-information/annual-report/2011-12.cfm>)

Annual report:

(http://www.tq.com.au/fms/tq_corporate/annual_reports/2011-12/Tourism%20Queensland%20Annual%20Report%202011-12.pdf)

Australasian Casino Association: Economic Reports: Casino Industry Survey 2009-10 (July 2011):

(<http://www.auscasinos.com/pdf/Casino%20Industry%20Survey%20Report%200711.pdf>)

6) スペイン(データ等は欧州主要国比較)

欧州主要国では、カジノは長い歴史において一つの交流施設またはエンターテインメント施設として存在している。特にフランスにおいてはこれまでに196のカジノを有しており、過去5年を平均して約18,000人の雇用を生み出している。

スペインにおいては、約40件のカジノがあり、年間のカジノ消費額が世界第3位となっている。国内は19の自治地域に分かれており、ギャンブル年齢は18歳以上となっており、各施設ともドレスコードと営業時間が大幅に異なる。近年ではあらたに「EuroVegas」というラスベガススタイルのカジノシティがマドリッド近郊にできることもあり、それを見越した数十億ドル規模のカジノと12以上のホテルの構築が今後10年で計画されている。

(参考) Casinos Europe (<http://www.casinos europe.com/spain/>)

参考: スペインのカジノの動向

	2008年	2009年	2010年	2011年
利益(€)	495,000,000	428,000,000	392,000,000	338,000,000
雇用数(人)	7,300	7,300	7,000	6,000
カジノ数	43	44	44	43

(資料) eca European casino association Facts & Figures (<http://www.europeancasinoassociation.org/10.0.html>)

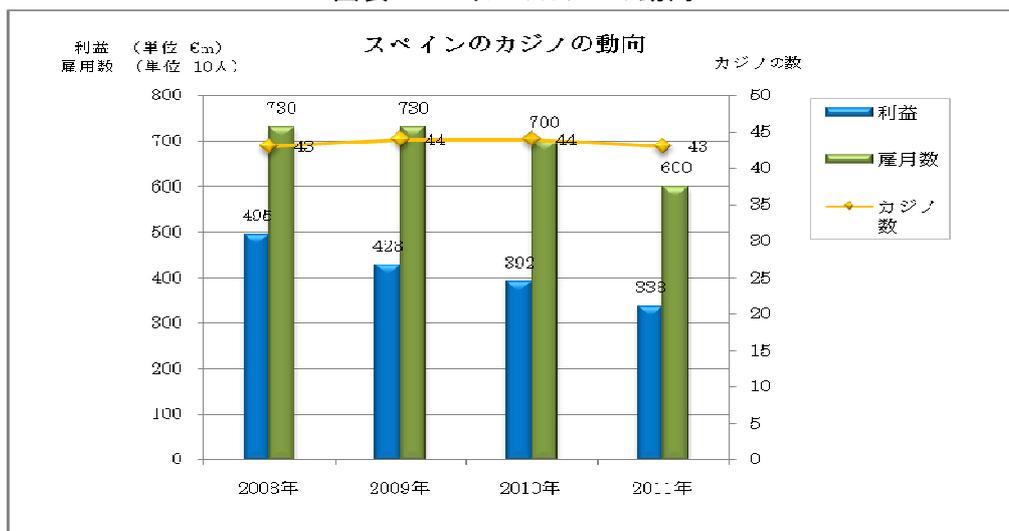
※但しイギリスの雇用数及びカジノ施設数については2011年では掲載されていないため、3年間分の平均値とした。

参考: 欧州のカジノの動向 (2008年～2011年の平均値)

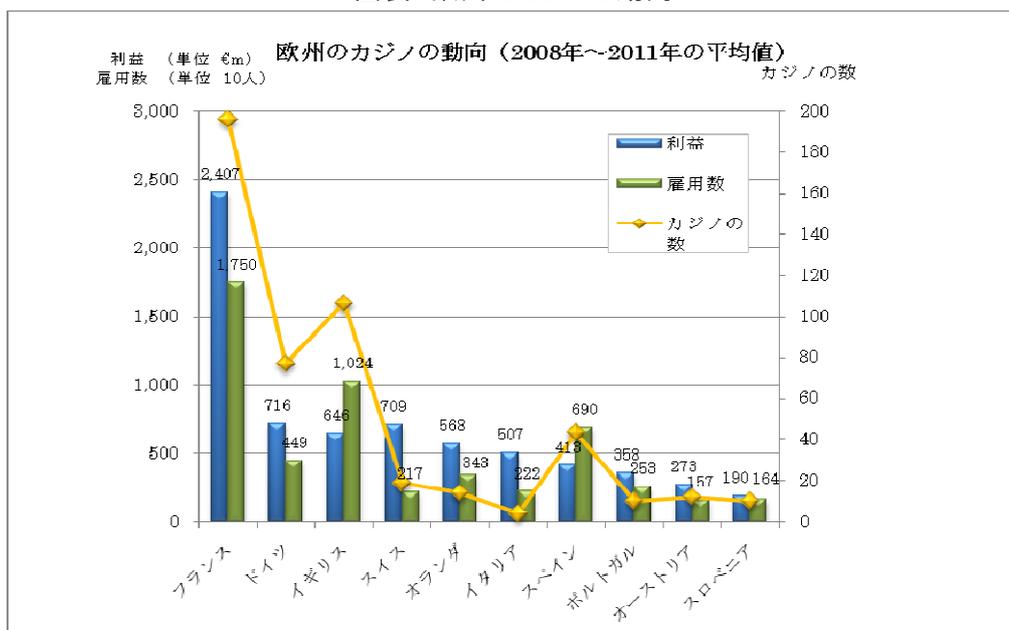
	フランス	ドイツ	イギリス	スイス	オランダ	イタリア	スペイン	ポルトガル	オーストリア	スロベニア
利益 (€ million)	2,407	716	646	709	568	507	413	358	273	190
雇用数 (人)	17,500	4,493	10,242	2,170	3,428	2,224	6,900	2,525	1,567	1,635
カジノ 数	196	77	107	19	14	4	44	10	12	10

資料: eca European casino association Facts & Figures
<http://www.europeancasinoassociation.org/10.0.html>

図表 スペインのカジノの動向



図表 欧州のカジノの動向



(参考) Libro blanco del juego en la comunidad autonoma de euskadi
 (http://www.interior.ejgv.euskadi.net/r42-jyejpubl/es/contenidos/informacion/jye_publicaciones/es_j_publ/adjuntos/Libro_blanco_del_juego_CAV.pdf)

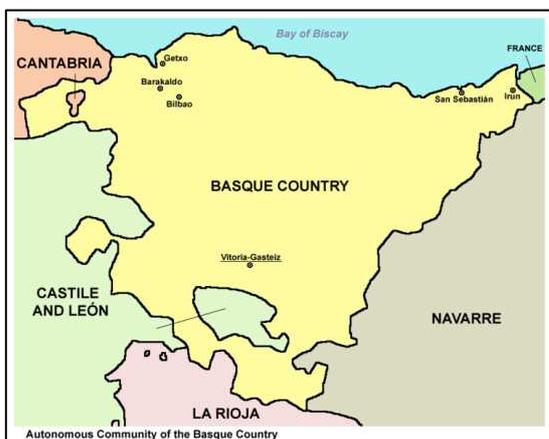
以下、視察先のバスク地方について整理する。

- **バスク州政府 バスク国土安全保障省**

バルセロナ警察、選挙管理、市民保護、ゲーミングやショーなどの部門を担当している。特にゲーミングエンターテイメント・マネジメントでは、各種権限アラバ、ビスカヤ、ギブスコアにおけるゲーム・エンターテイメントの専門機関であり、その管理、検査、規制に対する具体的な政策等を提供している。検査部門（ゲーミングエンターテイメント・ユニット）は、ゲーミングの監視、検査、ギャンブル活動や関連番組の制御を目的に、法律の規定、ショーや公共娯楽、レクリエーション活動のセキュリティ対策の管理と検査を中心としている。また、遊具やフィールドに特化したテクニカル・サポートのテスト、検証のための技術部門を実施している。

（参考）Eusko Jaurlaritza Gobierno Vasco Departamento de Seguridad

（http://www.interior.ejgv.euskadi.net/r42-jyecorga/es/contenidos/informacion/jye_comun/es_jye_orga/jye_organizacion_c.html）



（出典）ウィキペディア

（<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%90%E3%82%B9%E3%82%AF%E8%87%AA%E6%B2%BB%E5%B>）



（出典）World casino directory

（<http://www.worldcasinodirectory.com/spain/map>）



（出典）Casinos Europe Basque Country

（<http://www.casinoseurope.com/spain/basque-country/>）



(出典) Gran Casino Bilbao Casinos Europe
(<http://www.casinoseurope.com/spain/gran-casino-bilbao/>)



(出典) Casino Kursaal Casinos Europe
(<http://www.casinoseurope.com/spain/casino-kursaal/>)



(出典) Nervion Group カジノクルサール
(<http://www.nerviongroup.es/es/>)



(出典) Nervion Group カジノ マヨルカ
(<http://www.nerviongroup.es/es/la-empresa/casino-mallorca.php>)

参考:ネルビオングループ NERVION GROUP(2012年10月作成分)
(BILBAO, MALLORCA, SAN SEBASTIAN, CEUTA, SPORT BETTING)

	来客数 (人)	テーブルゲーム/ トーナメント	スロットマシン	飲食、イベント 関連	ベッティング 関連	合計
来客数 (人)	2011年	299,257	192,788	231,605	33,261	756,911
	2012年(1-9月)	225,380	150,633	184,329	31,962	592,304
	2012年通年予想	311,415	212,500	252,450	42,000	818,365
	売上額 € (2011年)	17,625,107.11	45,340,218.00	5,115,309.33	13,458,726.45	81,539,360.89
	売上額 € (2012年 1月-9月)	14,216,967.42	35,662,489.00	3,413,106.07	13,160,181.20	66,452,743.69
	通年予想 € (2012年)	18,900,000.00	48,530,000.00	4,652,000.00	15,100,000.00	87,182,000.00
税率(%)	ゲーミング・ タックス 税率	次表参照のこと	適応対象外			
従業員数	2011年	641				
	2012年	615				

スペインの ゲーミング税	ネット・インカムの課税基準(ユーロ)			税率 (%) 2012 年			
	第1区分	第2区分	第3区分	第1区分%	第2区分%	第3区分%	超過分%
セウタ Ceuta	1,322,227	2,187,684	4,363,348	20.00	35.00	45.00	55.00
バレアレス諸島 Balears (マヨルカ島)	1,987,382	3,288,176	6,558,363	21.00	39.00	49.00	59.50
バスク地方 País Vasco	2,000,000			20.00			33.00

スペインのゲーミング税は、テーブルゲームの売上高に適用、課税される。

スロットマシンからの収入には適用されない。

この表の見方：(セウタの例より)

テーブルゲームのネット・インカムが、1,322,227 ユーロまでは、ゲーミング税は 20.00%

1,322,227 ユーロ以上、2,187,684 ユーロまでは、税率は、35.00%

2,187,684 ユーロ以上、4,363,348 ユーロまでは、税率は、45.00%

4,363,348 ユーロ以上は、税率は 55.00%

(2) カジノ運営会社

①ウイン・マカオ(Wynn Macau Ltd.)

企業概要	設立	2006 年
	売上高	295 億香港ドル (2011 年 12 月期)
	税引後利益	59.2 億香港ドル (同上)
	従業員数	約 7,400 名
	時価総額	1,068 億香港ドル (2012 年 9 月 19 日終値換算)
開業及び拡張	2006 年 9 月：ウイン・マカオ開業、2007 年 12 月：ウイン・マカオ拡張工事完了、2010 年 4 月：エンコア (総投資額約 50 億香港ドル) 開業	
カジノ施設概要	テーブル：490 台 (うち VIP テーブル 295 台) スロットマシン：930 台 カジノ敷地面積：24,619 m ² ホテル客室数：1,008 室	
投資と収益性	2011 年度決算における貸借対照表上の固定資産等合計額が 1,107 億円であり、これに過去 5 年間の累積償却負担額 431 億円を加算すると投資額概算 1,538 億円となる。一方、過去 5 年間における EBITDA 合計額は 2,315 億円であり、年平均 463 億円となっている。投資額に対する年平均 EBITDA の倍率は 3.3 倍となっている。	

※参考：ウィキペディア・exBuzzwords

●EBITDA：earnings before interest, taxes, depreciation, and amortization の略語。

・税務分析上の概念のひとつとされる。

・利払い前、税引き前、減価償却前、その他償却前利益、あるいは金利、税金、償却前利益と表記されることが多い。企業価値評価の指標として利用された。

・企業の収益力を測る最も基本的な指標は当期純利益だが、この値は法人税額、特別損益、支払利息、および減価償却費が控除された値。法人税率や減価償却費は税法で規定されるため、企業が事業所を置く国の政策によって左右される。金利水準も国によって異なり、特別損益として計上される項目も国の会計基準によって変わる。そのため国による税法、金利、会計基準の違いを取り除いた利益の額が EBITDA。

・EBITDAは、多国籍企業の業績を評価する場合や、異なる国の同業他社間で業績を比較する場合に有用な指標であるとされた。

・EBITDA=税引き前利益+特別損益+支払い利息+減価償却費

① サンズ・チャイナ(Sands China Ltd.)

企業概要	設立	2009年
	売上高	421億香港ドル(2011年12月期)
	税引後利益	80.1億香港ドル(同上)
	従業員数	約22,680名
	時価総額	2,387億香港ドル(2012年9月19日終値換算)
開業及び拡張	2004年5月:サンズマカオ開業、2007年8月:ヴェネチアン・マカオ開業、2008年8月:プラザマカオ開業、2012年4月:サンズ・コタイ・セントラル開業(第一フェーズ)	
カジノ施設概要	テーブル:1,135台(うちVIPテーブル 不明) スロットマシン:3,216台 カジノ敷地面積:76,366㎡ ホテル客室数:3,439室 ※サンズ・コタイ・セントラルは含まない	
投資と収益性	2011年度決算における貸借対照表上の固定資産等合計額が5,469億円であり、これに過去5年間の累計償却負担額1,129億円を加算すると投資額概算6,598億円。一方過去5年間におけるEBITDAにおけるEBITDA合計額は3,889億円であり、年平均777億円となっている。投資額に対する年平均EBITDAの倍率は8.5倍となっている。	

② メルコ・クラウン(Melco Crown Entertainment Ltd.)

企業概要	設立	2004年
	売上高	38.3億米ドル(2011年12月期)
	税引後利益	2.88億米ドル(同上)
	従業員数	不明
	時価総額	552香港ドル(2012年9月26日終値換算)
開業及び拡張	2007年5月:アルティラ・マカオ開業、2009年6月:シティ・オブ・ドリームズ開業、2011年7月:ステューディオ・シティ開発プロジェクトの経営参加、2012年1月:10店舗目のモカ・クラブを開業	
カジノ施設概要	テーブル:630台(うちVIPテーブル 不明) スロットマシン他:3,400台 カジノ敷地面積:55,000㎡ ホテル客室数:1,400室	
投資と収益性	2011年度決算における貸借対照表上の固定資産等合計額が3,668億円であり、これに過去3年間の累計償却負担額711億円を加算すると投資概算4,399億円となる。一方、過去3年間におけるEBITDA合計額は872億円であり、年平均290億円となっている。投資額に対する年平均EBITDAの倍率は15.2倍となっている。	

③ ギャラクシー(Galaxy Entertainment Group Ltd.)

企業概要	設立	1987年
	売上高	558億香港ドル(2011年12月期)
	税引後利益	60.7億香港ドル(同上)
	従業員数	約15,000名
	時価総額	1,067億香港ドル(2012年9月19日終値換算)
開業及び拡張	2005年4月: グランド・ワールド・カジノ開業、2006年10月: スターワールド開業、2011年5月: ギャラクシーマカオ開業	
カジノ施設概要	テーブル: 450台(うちVIPテーブル 不明) スロットマシン: 1,300台 カジノ敷地面積: 不明 ホテル客室数: 2,200室	
投資と収益性	2011年度決算における貸借対照表上の固定資産等合計額が2,651億円であり、これに過去5年間の累計償却負担額331億円を加算すると投資額概算2,982億円となる。一方、過去5年間におけるEBITDA合計額は-397億円となっており、これは2008年度においてゲーミングライセンス等を一括減損している理由による。ちなみに過去3年間のEBITDA合計額は909億円であり、年平均303億円となる。投資額に対する年平均EBITDAの倍率は9.8倍となっている。	

※上記はギャラクシーマカオの概要

④ MGM チャイナ(MGM China Holdings Ltd.)

企業概要	設立	2007年
	売上高	213億香港ドル(2011年12月期)
	税引後利益	40.0億香港ドル(同上)
	従業員数	約5,800名
	時価総額	509億香港ドル(2012年9月19日終値換算)
開業及び拡張	2007年12月: MGM マカオ開業	
カジノ施設概要	テーブル: 427台(うちVIPテーブル 不明) スロットマシン: 1,184台 カジノ敷地面積: 29,496㎡ ホテル客室数: 582室	
投資と収益性	2011年度決算における貸借対照表上の固定資産等合計額が641億円であり、これに過去4年間の累積償却負担額183億円を加算すると投資額概算824億円となる。一方、過去4年間におけるEBITDA合計額は782億円であり、年平均は195億円となっている。投資額にたいする年平均EBITDAの倍率は4.2倍となっている。	

⑤ SJM(SJM Holdings Ltd.)

企業概要	設立	2006年
	売上高	479億香港ドル(2011年12月期)
	税引後利益	60.5億香港ドル(同上)
	従業員数	約20,660名
	時価総額	931億香港ドル(2012年9月19日終値換算)
開業及び拡張	現在、14カジノを運営中。うち2か所はタイパ島に所在。	
カジノ施設概要	テーブル：1,034台(うちVIPテーブル418台) スロットマシン：1,884台 カジノ敷地面積：不明 ホテル客室数：不明	
投資と収益性	2011年度決算における貸借対照表上の固定資産等合計額が1,075億円であり、これに過去5年間の累計償却負担額538億円を加算すると投資額概算1,613億円となる。一方、過去5年間におけるEBITDA合計額は1,918億円であり、年平均は383億円である。投資額に対する年平均EBITDAの倍率は4.2倍となっている。	

⑥ クラウン(Crown Ltd.)

企業概要	設立	2007年
	売上高	28.1億オーストラリアドル(2016年6月期)
	税引後利益	5.133億オーストラリアドル(同上)
	従業員数	約11,000名
	時価総額	672億オーストラリアドル(2012年9月19日終値換算)
開業及び拡張	クラウン・メルボルン及びバーストウッド、2ヶ所のカジノを運営中。 メルコ・クラウン・エンターテイメント社株式33.6%所有	
カジノ施設概要	テーブル：720台(うちVIPテーブル 不明) スロットマシン：4,500台 カジノ敷地面積：不明 ホテル客室数：2,289室	
投資と収益性	2011年度決算における貸借対照表上の固定資産等合計額が2,428億円であり、一方過去5年間におけるEBITDA合計額は2,817億円となっている。	

⑦ ゲンティン・シンガポール(Genting Singapore PLC)

企業概要	設立	1984年
	売上高	30.7億シンガポールドル(2012年6月期)
	税引後利益	8.1274億シンガポールドル(同上)
	従業員数	約13,000名
	時価総額	169億シンガポールドル(2012年9月19日終値換算)
開業及び拡張	2010年2月:リゾートワールド・セントーサ(総開発コスト66億シンガポールドル)開業。	
カジノ施設概要	テーブル:不明(うちVIPテーブル 不明) スロットマシン:不明 カジノ敷地面積:不明 ホテル客室数:1,500室	
投資と収益性	2011年度決算における貸借対照表上の固定資産等合計額が3,833億円であり、これに過去5年間の累計償却負担額419億円を加算すると投資額概算4,252億円となる。一方、リゾートワールド・セントーサが開場した2010年以降で、直近2011年12月期のEBITDAは831億円であり、投資額に対する倍率は5.1倍となっている。	

⑧ マリナベイ・サンズ(Marina Bay Sands Pts. Ltd. ; Las Vegas Sands Corp. 100%子会社)

企業概要	設立	2010年
	売上高	29.219億米ドル(2011年12月期)
	税引後利益	不祥
	従業員数	約7,400人(2011年4月現在)
	時価総額	不祥
開業及び拡張	2010年4月:マリナベイ・サンズ(2010年12月末時資産計上された開業投資額は57.4億ドル)開業。	
カジノ施設概要	テーブル:600台(うちVIPテーブル 不明) スロットマシン:2,500台 カジノ敷地面積:15,000㎡ ホテル客室数:2,600室	
投資と収益性	2008年の建設開始から昨年末までの設備投資額合計は3,172億円であるのに対して、2010年4月の開場から昨年末までの調整後EBITDA合計額は1,682億円となっている。	

2. 欧州カジノ事例調査

海外事例視察報告及び、各地の情報収集等を行い、整理する。

1) 目的と概要

今後の沖縄が目指す国際海洋リゾートの開発とカジノ施設が形成する成熟した先進事例地として、スペインのビルバオ、サン・セバスチャン、マヨルカ島、モナコの現地調査、政府観光関係機関、カジノ事業者との意見交換・情報収集等を目的とし、これまでの沖縄県の調査で行ったラスベガス、マカオ、オーストラリア、韓国、シンガポールとは異なり米国等のカジノ（制度的仕組み、規制のあり方）に影響を与えている欧州カジノ施設についての市場調査を実施した。

工 程

11月	視察先	調査内容
22日(木)	・移動	
23日(金) ビルバオ ネルビオングループ	・カジノ施設 ・州観光局等	・州政府のカジノ政策・計画についてヒアリング ・州の観光政策とカジノ事業(誘客、社会貢献、依存症対策等) ・沖縄観光に係る情報交換、PR
24日(土) サン・セバスチャン ネルビオングループ	・州観光局等	・州政府のカジノ政策・計画についてヒアリング ・州の観光政策とカジノ事業(誘客、社会貢献、依存症対策等) ・沖縄観光に係る情報交換、PR
25日(日) サン・セバスチャン ネルビオングループ	・カジノ施設	・カジノ開発について、企業計画担当者と意見交換
26日(月) マヨルカ島 ネルビオングループ	・カジノ施設 ・州観光局等	・カジノ開発について、企業計画担当者と意見交換 ・州政府のカジノ政策・計画についてヒアリング ・州の観光政策とカジノ事業(誘客、社会貢献、依存症対策等) ・沖縄観光に係る情報交換、PR
27日(火) マドリード	・政府観光局	・政府のカジノ政策・計画等についてヒアリング
28日(水) モナコ SBM社	・カジノ施設 ・観光局 ・コンベンションセンター	・カジノ開発について、企業計画担当者と意見交換 ・政府のカジノ政策・計画についてヒアリング ・観光政策とカジノ事業(誘客、社会貢献、依存症対策等) ・沖縄観光に係る情報交換、PR
29日(木)	・移動	
30日(金)	・移動	

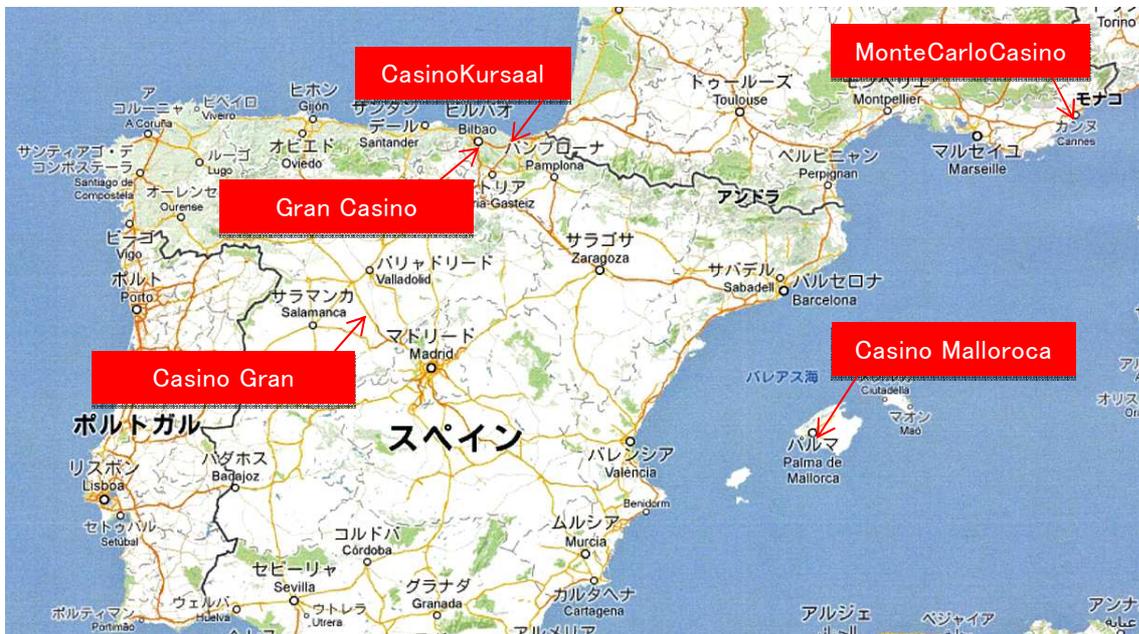
調査期間

- ・平成24年11月22日(木)～30日(金)、9日間(現地視察・市場調査は6日間、3日間の移動)

参加者

- ・ (株)国建：田邊治通、吉山真澄、(株)博報堂：栗田朗

2) 視察カジノ施設配置図



スペイン公認カジノがある都市 23 ヶ所

3)ビスカヤ県・バスク自治州部

■ビスカヤ県の概要



州	バスク州
県都	ビルバオ
公用語	バスク語、カスティーリャ語
面積	
・総計	2,217 km ²
・スペイン国内の%	0.44%
人口	
・総計(2008年)	1,146,421人
・スペイン国内の%	2.54%
・人口密度	514.15人/km ²

ビスカヤ県は、スペイン北部の県。バスク自治州の北西部に位置する。

■地理

ビスカヤ県は、西方でカンタブリア州とカスティーリャ・レオン州のブルゴス県に境を接し、南はアラバ県と接する。北はビスケー湾（カンタブリア海）に面する。オルドゥニャはアラバ県の中にあるビスカヤ県の飛び地。

面積は2,217km²、海岸線は80km。気候は海洋性で、1年を通じて降水量が多く温暖であり、植物がよく茂る。海岸のおもな特徴は、おもな川が海に注ぐビルバオの河口とゲルニカの河口である。海岸はたいてい高く、崖と小さな入り江が多い。

■歴史

ビスカヤには先史時代から人間が住んでいたことは、ゲルニカの近くのサンティマミニェ洞窟の壁画から明らかである。ローマ人はこの地の文化にほとんど影響を与えなかった。勇猛な住人とけわしい地形によって文明化が阻まれ、原初のバスク語とバスクの伝統は今日まで生き延びることができた。

近代続く数世紀の間、商業、特にビルバオ港が大きな重要性を持った。1511年、ビルバオ港は王によりスペイン帝国の港との貿易について特権を与えられた。1850年代、ビスカヤで大規模な鉄鉱資源が発見され、これにより海外、おもにイギリスやフランスからの投資がもたらされ、ビスカヤはスペインでもっとも豊かで工業化された地域となった。産業革命とともに Ybarra、Chávarri、Lezama-Leguizamón のようなブルジョア層が現れ、大きな産業グループ（イベルドロラ）や金融グループ（ビルバオ・ビスカヤ・アルヘンタリア銀行）の前身ビルバオ銀行とビスカヤ銀行が設立された。

2012年11月23日(金)

ビスカヤ県観光・海外振興局ジェネラルマネージャー

ガビーノ・マルティネス氏

【関係機関ヒアリング議事録】

■ビスカヤ県を含むバスク自治州の基礎情報及び観光戦略について

- 公用語はバスク語とカスティーリャ語（一般的なスペイン語）であり、公共サインは両言語の併記が必須である。
- ビスカヤ県はバスク自治州の一部ではあるが、フランス南西部にもバスク地方があり、地図上で指すバスク地方とは、スペイン領バスクとフランス領バスクの2種類がある。
- スペイン国内のバスク自治州はビスカヤ県、アラバ県、ギプスコア県の3県で構成されているおり、自治州内の人口は約210万人である。また、その半数である110万人がビスカヤ県に住んでいる。
- ビスカヤ県はスペイン国内における自動車生産の一大集積地である。
- 県内の主要産業は自動車製造業、環境エネルギー産業、造船業、工業デザインが挙げられる。
- バスク自治州全体の産業構成は、サービス業64%、重工業26%、建設業9%、一次産業1%であり、スペイン国内の他地域と比較して、3次産業が占める割合が大きい為、昨今の経済危機に対しても免疫力がある。
- ビルバオは首都であるマドリッドに次いで証券会社の数が多く、スペイン北部における金融・経済の中心都市である。
- スペイン全体の失業率は25%だが、アラバ県を含むスペイン北部のバスク地方の失業率は12%である。
- スペイン国内の法人税は一律で約40%であるのに対して、バスク地方では大企業28%、中小企業24%とし、企業誘致の推進策を設けている。
- バスコ自治州は起業率がイギリスに次いで欧州で2位であり、企業誘致のみならず技術革新にも注力している。

- ビルバオ市を含むビスカヤ県内には美術館及び博物館が 40 ヶ所あり、画商及び画廊関係が 20 ヶ所、古い劇場をリノベーションすることでオペラも開催できる施設を完備する等、芸術振興・PR にも注力している。
- ピンチョスといったバスク料理が世界的にも注目されており、バスク地方はミシュランの星評価を掲げる飲食店も多く、美食の街としても有名である。
- ビルバオには国際空港がある為、それに伴って国際会議が開催し易い環境を整備している。具体的には、最新設備のコンベンション施設であったり、市内アクセスが簡便に行える様に欧州でも最新の地下鉄設備を設けている等の策を講じている。この様な対策が好評を博し、2012 年度内だけで約 700 件の国際会議やコンベンションがビルバオで行われた。
- ビルバオ市内の最新 MICE 施設である “Bilbao Exhibition Center ” (以下 BEC) の総展示面積は 150,000 m² であり、駐車場の収容台数は 4,000 台を擁している。
- BEC 以外にも 2003 年度に世界評価を 1 位を受賞したビルバオ国際会議場が市内にはある。当施設の敷地面積は 55,000 m² であり、大ホールは会議場としての最大収容人数が 2,000 人である。

【質疑応答】

- Q) 古い建物をリノベーションすることで美しい状態で活用しながら、一方でグッゲンハイムに代表される現代建築物を設置するといった独特の景観をビルバオは擁しているが、都市開発の基本的な考え方を教えて頂きたい。
- A) バスク自治州はスペイン国内にありながら、独自の予算体系をとっている。具体的にはスペイン国内で必要とされる警察や軍隊に関するインフラ負担分の 6.24% をバスク自治州が補填する代わりに、残った税収は自治州で使用することが許されている。当パーセンテージは 10 年に 1 度、スペイン中央政府と交渉の上、決定している。
- この様な予算体系をとっている為、基本的には自治州内の建築分保存等は自治州で負担するケースが多く、スペイン中央政府が出資することは無い。その他の自治州はスペイン中央政府の補助金を頼りにしているケースが多々あることから、当自治州は対照的である。
- また、法人税率が低いことから、一般企業がリノベーション財源に限らず、都市開発に際して寄付金を拠出してくれるといった場合も多々ある。
- 因みに、グッゲンハイム美術館はバスク自治州及び下部地方政府が建築費用を拠出し、美術館を誘致した経緯がある。当件に際して、スペイン中央政府から補助金といった建築助成金は一切出してもらっていない。
- Q) カジノの存在が観光客を誘致することに貢献しているか。また、延泊日数や観光客による消費額が増えたといったことは確認できるか。
- A) ビルバオを初めとするビスカヤ県に滞在する観光客の主目的は、建築物や芸術作品に代表される文化資源への観光やガストロノミー（美食志向）である為、あくまでカジノは主要観光資源の補完的役割に過ぎない。
- 観光サービスのチャンネルが増えるという意味においては、カジノの存在は有意義と言える。その為、ラスベガスやマカオといった地域のように、カジノが観光収入源の

大枠を担うといったことは、ビルバオを初めとするビスカヤ県では確認できない。

■ビスカヤ県の観光戦略について補足説明

- 現在ビルバオを中心とするビスカヤ県の観光客層は、中流から上流階級の方々であり、バックパッカーや富裕層といった客層は訪れていない。

Q) 中流から上流階級と言われている現状客層となっている方々の国籍を教えてください。

A) イギリス、北アメリカ、ドイツ、フランス国籍の方々が多いが、観光戦略上で国籍を特定する様なことはしていない。

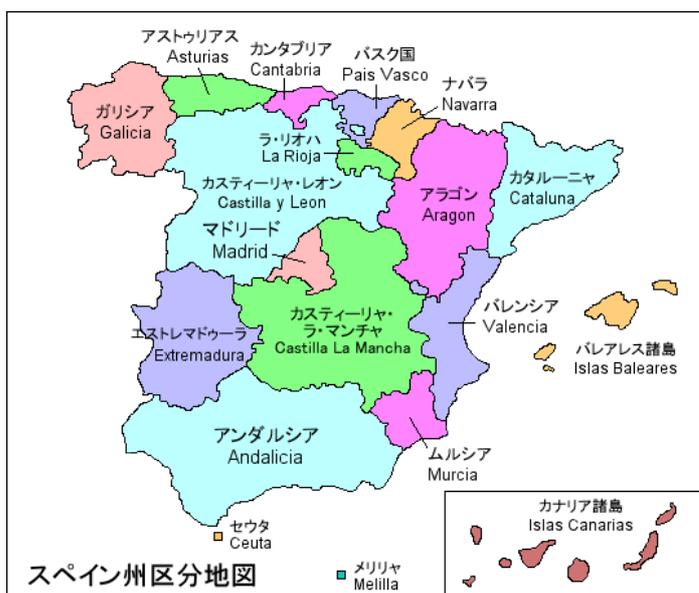
現在ビスカヤ県には年間 250 万人の観光客が訪れており、今後 20 年間の観光戦略としては年間 500 万人程度に増やす計画をたてている。しかし、500 万人以上の観光客を受け入れようとは考えていない。なぜなら、市民生活に迷惑が掛からない観光滞在者のキャパシティが 500 万人だからである。因みに、バルセロナでは観光客が増え過ぎたが為に、市民生活がままならないとの苦情が住民から出ている。

■バスク自治州の概要

バスク自治州は、スペインの自治州の一つである。州都はビトリア＝ガステイス。スペインの北部、ピレネー山脈の西側に位置し、北は大西洋（ビスケー湾）に面している。

住民は歴史的にはいわゆるバスク人であり、スペイン内の他地域とは、文化的には差異が大きい。

バスク語とカスティーリャ語（スペイン語）がともに公用語で、バスク人主体の地域であるため、スペイン国内のほかの地域とは異なる文化的特徴を持つ。スペイン国内では経済先進地域であり、他地方からの移民も多い。そのため州公用語のバスク語は少数言語状態にあり、公営 TV の ETB はそのチャンネルでスペイン語放送もせざるを得ないのが現状である。ピンチョスに代表されるバスク料理でも知られている。



州都	ビトリア＝ガステイス
公用語	バスク語、カスティーリャ語
面積	第 14 位
-総面積	7,234km ²
-割合	1.4%
人口	第 7 位
-総人口 (2008)	2,155,546 人
-割合	4.8%
-人口密度	297.7 人/km ²

■歴史

バスク自治州政府は、1936年に成立した「バスク自治政府」に自らの起源を置いている。現在のバスク自治州は、1978年のスペイン憲法によってバスク3県（アラバ・ビスカヤ・ギプスコア）にバスク自治州が設定されたことにはじまる。自治州政府の行政機構を定めた地方自治憲章（ゲルニカ憲章）が1979年10月25日の国民投票で承認されたことにより、現在の自治州政府が確立している。

2003年には州政府の閣議で、さらに高度な自治を要求し、将来のスペインとの関係見直しも視野に含めたイバレチェ・プラン（Ibarretxe Plan）を決定し、バスク州議会を通過させたが、マドリードの議会で否決されている。

■地理

バスク自治州は、北にビスケー湾に面しており、西にカンタブリア州・ブルゴス県、南にラ・リオハ州、東にナバーラ州およびフランスに隣接する。

自治州は、東西に並行する2本の山脈によって3地域に分けることができる。ビスケー湾に面した北部の「大西洋岸」、地中海に流れ込むエプロ川流域にあたる南部の「エプロ谷」、両者の中間に当たる中部の高原地帯である。バスク自治州の最高峰は Aitzkorri (1551 m) である。

■経済

バスク州はスペインの中でももっとも豊かな地方で、一人当たり GDP は EU の平均よりも 20.6% 高く、30,680US ドルである（2004年）。

産業は伝統的に製鉄業・造船業に集中していた。これは19世紀にビルバオ周辺で豊かな鉄鉱石が発見されたため、19世紀から20世紀半ばにかけて、ビルバオはバスクの「産業革命」の中心となった。1970年代・80年代の経済危機の時代にこれらの伝統的な産業は停滞し、かわってサービス産業や新技術産業が成長している。

現在、バスク自治州の工業部門で大きな割合を占めているのは、ビスカヤ谷・ギプスコアの工作機械、ビトリア＝ガステイスの航空機械工業、ビルバオのエネルギー業である。バスク自治州に本拠を持つ大企業としては、金融業のビルバオ・ビスカヤ・アルヘンタリア銀行（BBVA、本社ビルバオ）、エネルギー業のイベルドロラ（スペイン語版）

(本社ビルバオ)、鉄道車両の CAF (本社ギプスコア県ベアサイン)、風力発電機のガメサ (本社ビトリア=ガステイス) が挙げられる。

■交通

バスク地方は、スペイン中央部・北部とほかのヨーロッパを結ぶ交通の要衝となっている。

■鉄道

バスク州政府所有の会社である (バスク鉄道ネットワーク) が、バスク州における鉄道インフラの維持と新設にあっている。

バスク州政府所有のバスク鉄道は狭軌の鉄道会社であり、ビルバオとサン・セバスティアン間の市内交通・都市間交通や、ビルバオとビトリア=ガステイス間の路線を運営している。また、ビルバオ都市圏には地下鉄があり、Metro Bilbao が運営している。

スペイン国鉄レンフェの広軌路線が州内には 2 つあり、1 路線はガステイスとサン・セバスティアンを、もう 1 路線はビルバオとスペイン中央部を結んでいる。レンフェはビルバオとサン・セバスティアンのセルカニヤス (通勤鉄道網) も運営している。

おなじくスペイン政府所有のスペイン狭軌鉄道は、ビルバオと Balmaseda 間のコミューター路線のほか、ビルバオと州外の北部スペインを結ぶ路線を運営している

また、「バスク Y」と呼ばれる高速鉄道が建設中であり、2013 年に完成予定である。地形的な条件から、路線では多くのトンネルが使用されている。アンダイエでフランスの TGV ネットワークと接続する。

■空港 (ビルバオ空港)

州内には 3 つの空港があり、ビルバオ空港 (Bilbao Airport)、ビトリア空港 (Vitoria Airport)、サン・セバスティアン空港 (San Sebastián Airport) である。3 空港のうち最も規模が大きく、州の交通の軸となっているのはビルバオ空港である。国際線も発着するビルバオ空港には、2007 年には 420 万人の利用者があった。

■バスク料理

バスク料理とは、スペインとフランスの間に居住するバスク人の中で作られ発展してきた料理である。それには、肉と魚の炭火焼き、マルミタコ、子羊の煮込み料理、タラ料理、トロサの豆料理、レケイティオ産のパプリカ、ドノスティアのピンチョス、イデアサバル産の羊乳のチーズ、チャコリ・ワイン、およびギプスコア県のシードルが含まれる。

バスク料理は、海ともう一方の肥沃なエブロ谷からの豊富な産物の影響を受けている。バスク州の山がちな地形は、魚介類中心の沿岸料理と、肉や燻製肉、豊富な種類の野菜、豆、淡水魚、および塩タラが中心の内陸料理との違いを生み出している。フランスとスペインの影響も強く、国境の両側の料理の有名な違いには反対側ではめったに見られない南バスク産の発泡性ワインのチャコリや、北バスク産のガトー・バスクやジャンボン・

ド・バイヨンヌなど典型的なバスクの食料品も含まれている。

また、バスク人も新たな移民、貿易と探索から得た新しい食材や技術を素早く吸収した。スペインとポルトガルから追放されたユダヤ人はバスク地方に定住し、至るところにチョコレート産業、今日もバイヨンヌで名高い製菓産業、およびより幅広い菓子類とペストリーの伝統を興した。バスク人は新世界産のジャガイモとトウガラシを受け入れ、バスク料理に取り込んだ。後者はハム、ソーセージをはじめバスク料理で頻繁に使用される食材であり、バスク地方各地にはトウガラシ祭りが存在し、特にエスプレットとプエンテ・ラ・レイナのものが有名である。食文化はバスクの文化の中心であり、ジョディオにはガストロノミー博物館がある。

■食事の方法

バスクの料理と食材に加え、この地域には食事の準備と食事を分かち合う方法に関してユニークな特徴がある。

■シードル

シードル・ハウスは、ドノスティアの周囲の丘陵地帯、特にアスティガラガ付近の名物である。これはふつう巨大なりんご酒の樽を置いた、田舎風の大きなレストランである。ほとんどいつも塩タラのオムレツ、直火で焼かれたティーボーンステーキ、およびクルミとマルメロペーストを添えた雌羊の乳のチーズのような田舎風メニューが置いてあり、りんご酒を高い場所からまっすぐグラスに注いで供する。シードル・ハウスは年内のうち数カ月のみ開かれている。

また、チキテオとはバルのタパス（前菜）のはしごをすることで、スペイン中でみられる習慣であるものの、何百人もの人々が古い町の通りをクロケット、トルティージャ、スライスしてあぶったパン、または魚介類を専門とするバルからバルへと渡り歩くドノスティアのチキテオはその最たるものであるが、パンプローナやビルバオでも盛んである。

人が集まって一緒に料理と食事をする共同のチョコ（Txoko、「隅」の意）は食道楽の会で、伝統的に男性だけの組織である。史上初のチョコは1870年にドノスティアで組織され、大都会のチョコは大規模で厳格に組織されることが多いが、小さい町や郊外では、しばしば会場、食料や経費を友人たちで共有する小さな集まりとなる。バスク地方のこのユニークな習慣のおかげで、男たちは伝統的に恐れられる女家長から離れて料理に参加し、ともに時間を過ごすことができるようになった。近年、いくつかのクラブでは女性も許容されるようになった。

■新バスク料理

1970年代から1980年代にバスク人シェフ達がフランス料理のヌーヴェル・キュイジーヌから影響を受けて創作したヌエバ・コシナ・バスカは、非常に斬新なかたちをとるものの内容的には確かにバスク料理であり、バスクの伝統料理や伝統の味わいに基づくものより軽く、あか抜けている。ドノスティアのファン・マリ・アルザックはヌエバ・コシナ・バスカを代表する最も有名な人物となり、スペイン初のギド・ミシュラン三つ

星のうちの1つを得た。数年間のうちに、この潮流はスペインを席卷し同国の標準高級料理となった。

バスク地方、とくにドノスティアのタパス・バルの多くは、新しい技術と食材を使った現代式「ピンチョス」を供している。さらに近年、ビルバオ・グッゲンハイム美術館内のものを含めていくつかのレストランをもつマルティン・ベラサテギなどの若いシェフによって、バスク料理に新しい勢いがもたらされている。

※ピンチョス ピンチョスとは、小さく切ったパンに少量の食べ物がのせられた軽食のことである。名称はかつては食材を串や楊枝でパンに刺して留めていたことに由来しているが、串や楊枝を用いないものもピンチョ（ス）と呼ばれる。タパの一種であり、現在はタパの同義語としてもつかわれる。

■スペインにおけるピンチョス

ピンチョスは、チキートと呼ばれる赤ワインまたはスリートと呼ばれるビールとともに楽しむアペタイザーである。バスク州、カンタブリア州、ナバーラ州、ラ・リオハ州、ブルゴス県のミランダ・デ・エブロ市といったスペインの北部のバルでよく見かける食べ物である。パンにのせる食材は何でもよいが、バスク料理でよく用いられる魚（とくにメルルーサ、タラ、アンチョビ、ウナギの稚魚もどき）、トルティージャ、肉詰めピーマン、コロッケなどであることが多い。

バルでトレイにのせられているピンチョスは自分で串を抜き、上記のワインやビールを飲み、友人と話しながら立ったまま食べるのが一般的である。どの店も異なる料理には異なる串を用い、勘定には串を数えると考えられているが、実際には串の長さを変え、串に異なる色のキャップをはめるバルもある一方、必ずしも串の本数や形状で勘定をするのが一般的というわけではない。

スペインでは酒のつまみや軽食を全てタパスという言葉でまとめてしまうこともあるが、厳密にはタパスが料理を小分けにした突き出し風のもの、ピンチョスはオープン・サンドイッチ状のフィンガーフード（指でつまんで食べられる軽食）である。

2012年11月23日(金)

バスク自治州観光庁 ジェネラルマネージャー

イザベル・ムエラ氏

【関係機関ヒアリング議事録】

■ビトリア及びバスク自治州の基礎情報及び観光戦略について

- バスク自治州の州都がビトリアである。
- 以前は国内観光誘致が中心であったが、現在は国外向けに観光 PR 戦略をとっている。
- バスク自治州内には空港が3箇所あり、ビトリアは航空貨物の取扱いが主である。
- バスク自治州にある代表的な3都市では、それぞれ観光イメージが異なり、人口が最も多いビルバオはグッゲンハイム美術館に代表される様に前衛都市である。また、古くから観光・避暑地として人気が高い。
- サン・セバスティアンは富裕層を観光ターゲットとしたエレガンスと美食の都市であり、バスク自治州の州都であるビトリアは2012年のグリーンキャピタルに選出された様に、緑と文化の都市である。

- バスク自治州内には 446 軒のホテルがあり、自治州内全体客室数は約 12,000 室である。その他にも、バスク地方特有の建築物を改装し、コテージ化して宿泊施設も多く、施設数は 396 軒で客室数は 2,800 室を用意している。
- バスク自治州における観光マーケティングプランは 4 つの柱で構成されており、その 4 点とは以下の通りである。
 1. ガストロノミー（美食志向）
 2. 会議、コンベンションといった MICE
 3. 夏季に代表される様なバケーション（長期滞在型）
 4. 週末観光（短期滞在型）
- ガストロノミーに代表されるのはサンバステアンであり、当地はミシュランガイドで星の評価を多く頂戴しており、都市面積を星の数で割った場合に、世界で最も評価の高い都市となる。また、長期バケーションや週末観光の観光客を対象にした Jazz フェスや大規模な花火大会を、バスク自治州を代表する 3 都市が 1 年に 1 度ずつ持ち回りで開催している。
- 自治州内には 80 のミュージアムが在り、文化観光を牽引している。
- 都市型観光のみならず、バスク自治州の中にはユネスコ登録されている豊かな自然が残っており、自治州内には 10 ヶ所の自然公園が在り、自然公園が自治州内に占める面積比率は 22.7% である。
- 252 km に渡る自然豊かな海岸線の一部では、サーフィンも可能であり、スポーツ観光の目玉である。
- ガストロノミーの一環として、ワインは飲食店で消費されるのみならず、有名デザイナーとボトルやラベル部分のデザインをワインセラーとコラボすることで商品価値を高める観光政策をバスク自治州主幹で行っている。
- 因みに、自治州内には 276 のワインセラーが現存する。
- 会議及びコンベンションは大規模なものではなく、中小規模の開催を継続的に行った方が経済効果は高いということが近年分かってきた為、中小規模の開催に観光庁は注力している。
- 外国人観光客は直近の観光政策が上手くいったこともあり、2009～2010 年の間で 33% 増となった。
- これからは体験型観光ツアーに注力し、より満足度の高い観光メニューを提供したいと考えている。
- 体験型観光ツアーの具体例を幾つか挙げると、三星レストランのシェフが少数限定の参加者を連れだつて朝市のマルシェに買い出しに行き、購入した食材をレストランに戻って提供したり、ワイナリーにてブドウ狩りからワインのビン詰めを観光客に提供し、お土産として持ち帰られるといったサービスを提供している。飲食関係以外にも、グッゲンハイム美術館と提携し、作品の修復や展示会開催までの流れを体験可能なツアーを提供しており、他にも約 100 の体験ツアーを民間と連携し、観光客に提供している。
- 上記の様な観光メニューを認知してもらう為に、バスク自治州専門の観光チャンネルを放送しており、観光 PR の予算はバスク自治州へ直行便が運航している近隣諸国に限定して行っている。

- 4年間計画で設定された観光戦略が結実した証拠として、観光産業により市民所得が5%上昇し、なおかつ、雇用の創出にも貢献したことが分かった。

【質疑応答】

A) カジノは先述のマーケティングプランの4点の中で、どれに該当するのか。

Q) カジノは週末観光（短期滞在型）に含まれている。

Q) バスク自治州内にてカジノによる社会貢献とはどのようなものがあるか教えて頂きたい。

A) 観光サービスのチャンネルを増やすという意味では、存在自体が社会貢献だと個人的には考えている。

また、ビルバオでは最も遅くまで営業している飲食店がカジノ内部のレストランとなっている為、美味しい料理を遅くまで提供してくれている点も観光サービスの視点からは社会貢献と言える。その他にも遊興的な意味合いではなく、市民集会の場所としても会場利用がされている部分も、社会貢献活動だと言える。

Q) スイスの様にカジノが設置されたことで、観光客の宿泊日数が延たり、観光消費効果が増大したといった効果やオフシーズンの観光客が増えたといった具体的な効果はあったか。

A) カジノに起因する具体的な効果や数値は把握していない。しかしながら、先ほど申し上げた様に、営業時間の長い飲食サービスの提供や観光チャンネルを増やすという意味では、観光産業にプラスの効果をもたらしている。

Q) 世界各国のカジノが観光戦略の一部として、三星レストランの支店をカジノ内に誘致している現状を踏まえ、ガストロノミーが観光戦略の一部に組み込まれている地における経験則から、三星レストランとカジノにおける相乗効果は観光 PR・消費効果増大に好影響を及ぼすと思えるか教えて頂きたい。

A) 美食志向（食費に高額な対価を支払う）客とカジノ利用客というのは共通する部分が多いので、三星レストランとカジノの相乗効果は大きいと思う。バスク自治州では星を掲げるブランド価値の高いシェフが多いことから、よりガストロノミーによる観光産業の競争力を高める為に、大学に分子調理学の専攻コースを開設した経緯がある。

Q) 現在、日本ではカジノ法案を作成中であり、今後はカジノを用いた観光産業の拡充を図ろうと考えている為、日本でカジノを設置する際には是非バスク地方の三星シェフの方々とコラボレートしたいと考えている。当件が実現すれば、バスク地方の知名度も日本に浸透することから、双方互惠関係を結べると幸いです。

A) 姉妹都市としての機能を互いに持ちながら、バスク地方の食文化が皆様のお役にたてるなら幸いです。

Q) 国内から国外向けに観光戦略を転換した結果として、観光消費全体の何割が外国人観光客で占められているのか教えて頂きたい。

A) 観光消費全体の何割が外国人観光客によりもたらされているのかは把握していない。しかしながら、戦略転換の結果として、外国人観光客が依然に比べて33%増えたことは確かである。主だった外国人観光客の国籍構成は、フランス、イギリス、北中アメリカである。今後はロシア、中国、トルコにも観光マーケットを広げたいと考えているがスペイン中央政府からはビザ発給の問題を指摘されている為、より検討が必要だと考えて

いる。

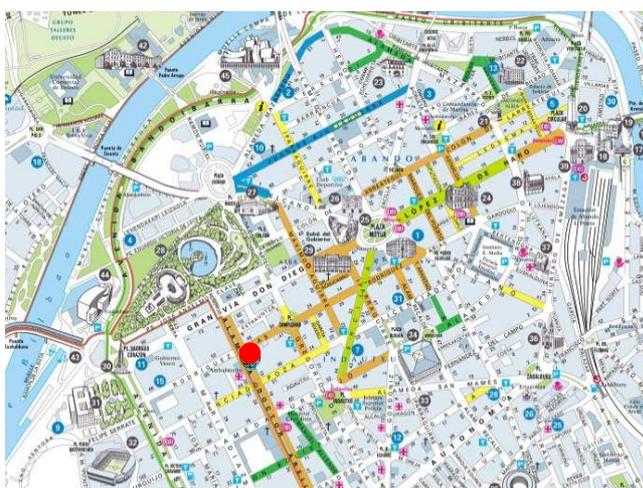
Q) 国際会議の開催として、大規模な催しよりも中小規模の方が経済効果が大きいと仰っていたが具体的にどのような催しが開催され、誘致活動を行っているのか教えて頂きたい。

A) 移動がバスとなり、食事も全てホテルや会場内のみとなってしまう為、街全体への経済効果が薄い。しかしながら、株主総会といった数千人規模にならない中小規模の催しだと、街中のレストランを使用してもらえたり、移動中に買い物をしてもらえる機会が増えるといった理由から、株主総会を初めとする中小規模の催しを誘致・開催している。

GRAN CASINO BILBAO(11月23日(金))

ビルバオ

ネルビオングループ



■ロケーション

- ビルバオの中心地区、歴史的な建物が立ち並ぶ賑やかなストリーットの一角に位置する。
- Coliseo Albia という旧映画館の建物をリニューアルして2011年オープンした。
- 建物は1・2階がカジノフロア、3～5階は別会社がホテル等に利用している。
- 車道に面し正面玄関と歩道専用の

ショッピングモール側からも出入りできる。

- 街全体が歴史的景観として調和しており、特にカジノ施設の派手なネオンサイン等が設けられているわけではない。

■規模、施設概要

- 歴史的建築と調和した落ち着いたデザイン、料理、ケータリング、イベントとポーカーを組み合わせたマルチゲームを提供している。
- 直接車で地下駐車場へアクセスが可能、また近くに駐車場を備えた理想的な場所に位置する。
- カジノ施設 6,000 m²、近代的なヨーロッパスタイルのゲーミングホール、マシンホール、テーブルゲーム、レストラン、バー、ライブエンターテイメント、200 m²のトーナメントホール、VIP エリア等で構成されている。
- 1階には専用バーがある、またショッピングモール側に仮設休憩スペースを設けてドリンクやフードサービス、喫煙ができる。
- 利用者は常連客が多く、ディーラーや関係者が声をかけゲームに過度な熱中をしないよう心掛けている。
- 最新式のマシンゲームとは別に、毎日のトーナメントでポーカーを楽しむことができる。

- ビスカヤ選手権ポーカーテキサスホールデムの様々な年次会議をホストしており、トーナメントのための独立した会場約 200 m²が併設されている
- カフェ&バーLutxana はストリート入口、テラス、ライブスポーツイベントのためのスクリーンを備えたスナックやドリンクを楽しむ別の空間を演出している。1階に、レストラン Ibaigane とファンクションルームを備えている。
- 1階には機器室、テーブル、バー、ライブエンターテイメント、静かな VIP ルームとプレイエリアを配置している。
- エンジンルームには、最新のビンゴマシン、ブラックジャック、電子ルーレット、ポーカーマシン、伝統的な機械式リールマシンおよびビデオリール、ミステリージャックポット、レースやスポーツベッティングが備えられている。
- スポーツくじ、競馬はカフェ&バーにいて、テレビ画面を通じてライブ大会を楽しめる。
- レストラン Ibaigane は、広々とした明るく約 500 m²で 350 名収容できる。仲間やグループと祝い等すべてのタイプの個室を備えて対応している。個室のスペースは最小 10 人と最大 350 人、利用者のニーズに合わせて構成されている。
- 結婚式や特別なイベントに対応し、ビルバオの中心に新たなランドマークとして注目されている。
- 様々なイベントは、レストラン Ibaigane で多目的客室を用意している。会議、ミーティング、芸術展覧会やファッションショー、すべてのタイプのイベントを開催することができる。
- さらに 200 m²の別室では、大規模なポーカーイベント、会議、プライベートパーティーを開催している。



ビルバオ市街地の典型的なロータリー広場



歴史的な景観と広い歩道で構成された街路



市街地を走るトラム



庶民、観光客が集う“ピンチョス”



旧市役所



ライトアップされた歴史的建造物(アリアガ劇場)



“ピンチョス”店内に設置されたスロットマシン



街路に面した CASINO GRANBILBAO の建物



ビルバオ川沿いのグッゲンハイム美術館



周辺地区の再開発とプロムナード

Casino Kursaal(11月24日(土))

サン・セバスチャン

ネルビオングループ



■ロケーション

- サン・セバスチャン市庁舎と港に隣接し、ブルバード、サン・セバスティアン、駐車場から25mの旧市街への入り口の大型の歩行者エリアに位置している。
- 観光都市の市街地中心部、高級レストランやショップ等、様々な施設が集積し"Parte ビエハ"（旧市街）との境界部に立地する。
- 歴史の佇まいを残す象徴的な復元

4階建ての建築物に位置している。

- ガストロノミーの街、旧市街地に人気のピンチョスが立ち並ぶストリートに面して一日中人通りの絶えない一角に位置する。
- カジノ施設として特に建物を強調するデザイン、サイン類は見られない。
- 古い歴史的な建物は一体的に調和された景観をつくり、落ち着いた雰囲気醸し出している。建物の1・2階は店舗等に3階以上は住居として利用されている。
- 地元の人々は夕暮れ時に市街地を散策する習慣があり、11月末の観光シーズンオフのこの時期でも観光客を含めかなりの人で賑わっている。

■歴史・背景

- サン・セバスチャンではギャンブルは1924年に禁止された。
- 1978年6月10日に最初のカジノが開設されてから、ネルビオン社が25周年を迎えた、2003年にサン・セバスチャンのニューグランカジノ・デル・サールが開設された。

■規模、施設概要

- サン・セバスチャン数多くの会議や観光客があるときは、都市機能を補佐するのに必要な、レジャー代替手段を提供している。
- 歴史的な建造物の外観を残し、内部の空間をリノベーションして最新式の機材等を導入してサービスを提供している。
- CasinoKursaal が立地する以前は、映画館の施設として利用されておりリニューアルしてカジノ施設を開設した。
- 施設は4つのフロアで顧客や訪問者に異なる文化、レジャー、様々な活動、ギャンブルやケータリングを提供している。
- 入口を入り1階正面にはカウンタードリンクバー、右手にATM、スロットマシナールームで構成されている。

- 入場には ID を提示し番号を入力登録する必要がある。年齢制限は 18 歳以上、ID カード、パスポートや運転免許証等の提示も必要となる。
- ドレスコードはさほど厳格ではないが、すべてのフロアでスポーツウェアやスポーツシューズ、ノースリーブの衣類、バミューダパンツ、T シャツ、フリップフロップを除いた適切な服装を要求される。
- 2 階はテーブルゲーム、トーナメントテーブルが設置されている。
- 3 階はスポーツベッティング、競馬のコーナーも設けられている。
- 地下ホールは多目的ホールとしてレンタルも行っている。
- 施設内は禁煙であるため、屋上スペースを一部改修して屋根付の喫煙スペースを整備する予定である（スペイン国内では閉め切った室内空間での喫煙が法律で禁止されている）。

■ レストラン

- ラブールレストランはサン・セバスチアンの旧市街への入り口に位置するカジノクルザールの建物内 2 階に位置している。
- その高い品質基準の提供メニューは伝統的なレシピとバスクヌーベルキュージーヌの両方を含む様々な料理と様々なバリエーションが含まれている。
- **BARCAFÉCASINO**
- バーサービスは、一般の訪問者及びギャンブルをする利用者に平等に提供している。
- カジノではリラックスすることで過度な興奮を抑制し、ゲーム終了のための最後の飲み物を提供する場所でもある。

○ 責任あるギャンブル

- カジノでは、単なるギャンブルの楽しみや娯楽の一形態を維持するためではなく、必用かつ実用的な情報を提供することにより、個人の責任にアピールしたいと心掛けている。
- ゲームは娯楽の最も古い形態の一つであり、殆どの方は、楽しみのために賭けるが、そのギャンブルを制御することができないと考える。（ギャンブル依存は成人人口の 0.5%~1.5% 割合）
- 自己排除を通じて構内でのギャンブルへのアクセスを制限することができる。当社のスタッフは自己排除、規制とバスク政府の内務省によって管理されているプロセスを取得するために必要な情報を提供している。

○ スポンサー & コラボレーション

- CSR のプログラム内で 2 つの取り組みと様々な社会、スポーツ活動への支援がある。
- 後援協力としては年間サポートを提供し、様々な団体とタイムリーなコラボレーション活動を設定している。
- 特にアールスポンサーの一つは、20 年以上にわたって続けられてきた夏の間に行われるカジノクルサル大賞とサン・セバスチアン競馬のスポンサーである。



Casino Kursaal の夜景



Casino Kursaal、日中の人通り



バルや店舗が続く旧市街地の通り



中心街の広場



賑やかなバルの店内、熟成した生ハムの陳列



ライトアップされた歴史的建造物

4) サン・セバスティアン部

■サン・セバスティアン市の概要

州	 バスク州
県	 ギプスコア県
面積	60.89km ²
標高	6m
人口	183,308 人 (2007 年)
人口密度	3,010 人/km ²
住民の呼称	donostiarra
自治体首長	フアン・カルロス・イサギーレ (Bildu)



モンテ・イゲルドから見たコンチャ湾 (写真)

観光 (HP) <http://www.1.parkcity.ne.jp/m-pukupuku/6espana/3sansebastian.html>

サン・セバスティアン、またはドノステイアは、スペインの都市。公式には、ドノステイア=セバスティアン (Donostia-San Sebastián) と呼ばれる。バスク州のギプスコア県の県都である。人口は 182,930 人 (2005 年推計)。

■地勢・産業

ビスケー湾に面するスペイン北東部の港湾都市であり、物流の拠点であるほか漁業も盛んである。風光明媚な海岸線などによって高級保養地として知られ、多くの王族や国家元首が来訪した。フランス国境に近く、国境までは約 15km 程度。海に突き出した 2 つの山モンテ・ウルグルとモンテ・イゲルドにはさまれたコンチャ湾に、弧を描くビーチがある。

旧市街は、モンテ・ウルグルのふもとにある。近隣の都市としては、約 80km 西のビルバオ、約 45km 北東のバイヨンヌ (フランス領) などが挙げられる。

■歴史

- 1174年、ナバーラ王のサンチョ6世によって自治権を与えられる。
- 1200年、カスティーリャ王国のアルフォンソ8世に征服されるが、自治権は認められる。
- 1656年、スペイン王女とルイ14世が近くのアンダイエで結婚するまで、王宮の司令部として使われる。
- 1728年、王立ギプスコア・デ・カラカス会社の設立により、アメリカ大陸のスペイン領との貿易が盛んになる。
- 1808年、スペイン独立戦争の間、ナポレオン1世軍により占領される。
- 1813年、8月31日、サン・セバスチャンを包囲したイギリスとポルトガルの部隊がフランスの占領軍を破る。解放軍が自制を失って街を焼き払ったにもかかわらず、住民は反フランス感情を捨てなかった。現在では丘のふもとの通り（8月31日通り）だけが残っている。
- 1813年、街が同じ場所に再建される。若干レイアウトが変更されたが、建築上は同じスタイルであった。
- 1833年、Sir George de Lacy Evans 指揮下のイギリス義勇軍がカルリスタの攻撃から街を守った。死者はモンテ・ウルグルの「イギリス墓地」に埋葬されている。
- 1863年、市壁が取り壊され（その残骸は Boulevarde の地下駐車場で見ることができる）、市域の拡張が始まる。
- 1936年、スペイン内戦によって分断される。労働総同盟（UGT）は、バスク民族主義者に対して恐怖政治を行う。
- 1937年、スペイン内戦の結果、この地方はファランヘ党の支配下に置かれ、UGTに報復が行われた。

■スポーツ

サン・セバスチャンは、リーガ・エスパニョーラに所属するサッカークラブレアル・ソシエダのホームである。また、スタジアムでは、ラグビーユニオンのチーム、ビアリッツ・オリンピックの試合が行われている。

スペインプロバスケットボールリーグのギプスコア・バスケットクラブの本拠地である。バスク地方は自転車ロードレースが盛んな地域で、夏にはサン・セバスチャンを舞台としたワンデイレースであるクラシカ・サンセバスチャンが行われる。

■文化

毎年1月20日（聖セバスチャンの祭日）には、「タンボラーダ」として知られる祭りが行われる。真夜中に旧市街の憲法広場で市長がサン・セバスチャンの旗を掲げ、それから24時間街中に太鼓の音が満ちあふれる。コックと兵士の衣装を着た人々が街を練り歩く。

タンボラーダは、「ドノステリア人」にとって一年でもっとも重要な祭りである。一晩中太鼓の音を聞いた後で、子供たちは子供版のタンボラーダに参加する。子供たちは伝統的に兵士の格好をして街を練り歩く。たいていはその衣装は特定の国（イギリス、ドイツ、ルーマニアなど）を表すものである。

毎年8月には「Semana Grande」または「AsteNagusia」と呼ばれる祭りが開かれ、花火大会が毎晩行われる。湾をまたがって花火が打ち上げられ、最後に勝者が発表される。

サン・セバスチャンは、バスク料理と「pintxos」（ピンチョス）でも知られ、港の近くにはレストラン街がある。

サン・セバスチャンでは、バスク地方でもっとも重要な国際映画祭ドノスティア=サン・セバスチャン国際映画祭が開かれる。また同様に国際音楽祭としてサン・セバスティアン音楽週間が開かれる。

サン・セバスチャンは2016年の欧州文化首都に選定された。

サン・セバスチャン市観光政策部ジェネラルマネージャー

イザベル・アグイレザバラ氏

【関係機関ヒアリング議事録】

■サン・セバスチャン市の基礎情報及び観光戦略について

- サン・セバスチャン市は人口18万人の都市であり、当市には年間45万人の観光客が訪れる。
- 当市はガストロノミー（美食志向）を観光の目玉としており、ミシュランガイドで評価されている星の総数は市内で16個である。
- 市の中心部から100km圏内に空港が3箇所あり、フランス国境からも近いことからフランス人観光客が多い。
- コンベンションビューローと観光政策部を同部署内で管理することで、一貫した観光戦略を策定する様に心がけている。
- 美しい都市景観と豊かな自然が評価され、2016年に開催される文化都市イベントに選定された。
- 恵まれた観光資源を最大限に活用する為、当市観光政策部では5つのポイントを基に観光戦略を策定しており、5つのポイントとは下記の通りである。
 1. ガストロノミー（美食志向）
 2. 欧州内でも随一の文化都市
 3. ハイエンド観光の充実
 4. 豊かな自然を含むスポーツ環境
 5. MICE機能
- ガストロノミーに関しては、先述のミシュランガイド評価の他にも、ピンチョス発祥の地ということもあり、より世界中の方々にバスク料理を堪能してもらえる様に、昨年からバスク料理専門の講座を大学内に開講した。その他にも、ガストロノミーに関する国際会議を開催する等の取組みも行っている。
- 世界中で親しまれ、アメリカで最も発刊部数の多い新聞であるウォール・ストリート・ジャーナルにて、世界中の観光都市評価においてトップ10入りの荣誉に輝いた経歴が当市にはあり、こういったメディアの効果によって、より観光客が増えたという経緯がある。
- 文化都市としての評価を受けて、現行のJazzフェスを世界レベルの催しに引き上げる取組みをしている。

- ハイエンド観光については、クルージングによる日の出を観れる観光ツアーの実施や、マリア・クリスティーナホテルに代表される様な五つ星ホテルを有している点が当市の強みである。
- スポーツに関しては、バスク特有のスカッシュの様なスポーツが出来る様な体験プログラムも用意しており、美しい海でヨットやサーフィンができることも観光の売りであり、サーフィンに関しては世界大会も開催される。
- MICE 機能に関しては、施設利用者及び来場客へのアンケートの結果として 92%が満足したという回答が得られており、特に水族館を利用した MICE としてユニークベニューが好評を博しており、他にも、研究者や技術者専用のタレントハウスを拡充することで、知識への投資に値する環境を整備している。
- 当市のコンベンションビューローには約 300 社の民間企業・団体が参画しており、会費をコンベンションビューローに納めている。これらの会費の用途は、観光パンフレットの作成や、当市でイベントを開催する際に雇う通訳への日当として使われている。コンベンションビューローに会費を納めている構成員というのは、市内のホテルやレストランを営業している方々であり、カジノもその一員である。

【質疑応答】

Q) MICE 会場として、水族館やタレントハウス以外にはどのような施設があるか教えてください。

A) パラシオクルサルという会場があり、当施設内の最も大きな会場では、会議として一度に 1,800 人を収容可能で、小さい方の会場では 575 人を収容できる。両会場共に会議・展示スペースは可動式の間仕切りを設けており、用途に合わせて会場を調整できる様な仕組みとしており、会議場の最小規模は 10 名収容である。

その他には、市中心部から 5 分程の距離にあるテクノロジーセンターや商工会議所といった施設があり、歴史的なホテル内の大ホール等ではレセプションや各種ショーが開催されている。

Q) MICE に関して、同じバスク自治州の中でビルバオとはどのような住み分けをしているか教えてください。

A) MICE 利用客は会場としてどのようなインフラがあるかといった判断の前に、訪れる都市の環境を考慮にいと私たちは考えており、同じバスク自治州の中でも、ハイエンドな観光客層を対象にしている当市と、前衛的な芸術や商業都市として中流から上流階級の消費者層を抱えるビルバオでは、そもそもの成り立ちが違う。その為、特段に差別化を行う様な取組みはとっていない。

Q) MICE 誘致に際して、カジノの存在は当市においてプラスに作用していると考えているか。

A) 間違いなくプラスの作用が働いていると考えている。

Q) スイスの様にカジノが設置されたことで、観光客の宿泊日数が延びたり、観光消費効果が増大したといった効果やオフシーズンの観光客が増えたといった具体的な効果は当市でも認められるか。

A) 具体的な数値は把握していないが、観光産業のチャンネル数が増えることにより、カ

ジノが無い状態よりも、ある状態の方が消費効果は大きいでしょうし、カジノがあることで同市にプラスの効果があることは確実である。

Q) 歴史ある古い建物が市内では多く散見されるが、歴史的建物の保全やリノベーションの費用はどの様に捻出しているのか教えて頂きたい。

A) 県や市の予算から費用を捻出す場合もあれば、民間企業の協賛というかたちで寄付金を募る場合もある。その他事例として、欧州全体の歴史遺産として認められた建築物は他国からも援助を受ける場合がある。

Q) 当市がハイエンドの観光地と成立する為に人材育成はどの様に行っているか教えて頂きたい。

A) 人材育成に大きく貢献し、若手の育成の基本となっているのは、大学内に開設された観光コースの拡充であり、コンベンションビューローに協賛してくださっている300社が協力して、高品質のサービスを常時供給出来る様に人材育成に取り組んでいることも挙げられる。大切なことは、当市全体が一貫となって高品質のサービスを提供することを意識的に取り組むことであり、自社内のサービスだけが向上すれば良いという考え方を排し、人材育成に取り組む姿勢だと考えている。

Q) 当市内でカジノが行った社会貢献活動はどの様な事例があるか教えて頂きたい。

A) 100年前の話になってしまいますが、市内中心部から水族館へ繋がる遊歩道の整備資金をカジノが拠出した事例がある。現代では市内で催されるイベントにカジノが協賛金を拠出するといった事例が多い。

A) 当市における平均滞在日数や観光客に関する数値データがあれば教えてください。

Q) 平均滞在日数は2泊3日である。観光客の国内外比率に関しては、一昔前までは国内旅行者が65%、国外観光客が35%だったのに対し、現状では国内が47%、国外が53%となっている。

A) ガストロノミーの街として当市がブランディングを行い、世界的にプロモートが成功した事由を教えてください。

Q) 先述のガストロノミー世界会議を開催したり、ミシュラン関連イベントを開催するといった国外PRが先ず功を奏したと考えている。また、ピンチョス(バスクの代表料理)＝サン・セバスチャンというバスクのブランドイメージを活用した点も成功事由として挙げられると思う。そもそも、ピンチョス等のバスク料理が今でこそ世界的に有名になった始りは旅行者間の口コミであり、現在は色々な多様な媒体にて、ガストロノミーを前面に押し出したPRを行っている。

対外的に当市のガストロノミーをPRする前段階として、国際的なイメージを構築しようと有名シェフのみならず、家族経営の飲食店等にも消費者は地元客のみではなく、観光客のその先にまでお客様がいるんだと意識づけを行った。

Q) 旅行代理店とのタイアップ等のPR戦略も重要視しているのか教えて頂きたい。

A) 旅行代理店とのタイアップは最近始めたばかりである。

5) バレアレス諸島部

■バレアレス諸島自治州の概要

州都	パルマ・デ・マヨルカ
公用語	カタルーニャ語、カスティーリャ語
面積	第17位
・総面積	4,992km ²
・割合	1.0%
人口	第14位
-総人口（2005）	983,131人
-割合	2.2%
-人口密度	196.94人/km ²
自治州法	1983年3月1日



バレアレス諸島の地図

バレアレス諸島は、西地中海に浮かぶ群島で、スペインを構成する自治州の一つとなっている。

バレアレス諸島自治州は同名の一県のみで構成されている。州都・県都は、パルマ・デ・マヨルカ。

バレアレス諸島は2つの群島と多くの小島・岩礁によって構成されている。ジムネジアス群島はマノルカ島、マジョルカ島、カブレーラ島と、付近のドラゴネーラ島、Conills島、ライレ島など、もうひとつのピティウザス群島はアイヴィーサ島、フルマンテーラ島と周囲に位置する小島・岩礁など。

■歴史

歴史的には、古代においてバレアレス諸島は投石器を扱う優れた能力を有する傭兵の

出身地として広く知られており、例えばガイウス・ユリウス・カエサルの『ガリア戦記』などにその名前を見ることができる。

ローマ帝国の支配を経た後はヴァンダル人、ビザンティン帝国、アラブ人、アラゴン王国というように領有者は変遷した。アラゴン王国は、この地にあったマヨルカ王国を属国として支配していたが、1344年併合した。のちにはそのままスペインに吸収された。

メノルカ島は、18世紀にはイギリスの属領であった。

【おもな島】

マヨルカ島（大島）

メノルカ島（小島）

イビサ島

フォルメンテラ島

カブレラ島・カブレラ群島国立公園の内 すべて観光で訪れることができる。

バレアレス諸島自治州観光庁観光庁ディレクター

ホセ・マーシャル・ロドリゲス・ディアス氏

【関係機関ヒアリング議事録】

■バレアレス諸島における基礎情報及び観光戦略について

- バレアレス諸島は主にマヨルカ島、メノルカ島、イビサ島、フォルメンテラ島、カブレラ群島で構成されており、州都はマヨルカ島内にある palma・デ・マヨルカである。
- マヨルカ島内のカラビーニャス地区は新興高級住宅街兼高級ホテル地域であり、ドイツ人等の富裕層が多く別荘を所有し、妻子を当地域で生活させ、夫は週末等の休みにのみマヨルカ島へ帰ってくるといったライフスタイルが流行している。また、当地域にはニキビーチという世界に5カ所しかないセレブリティ専用の会員制ビーチがある。
- マヨルカ島のホテルの中には、オフシーズンとなる11月から翌年の2月まで従業員も休ませ、完全閉業になるホテルが多々ある。
- バレアレス諸島の観光における強みは大きく3点挙げられる。3点の強みとは以下の通りである。
 1. 温暖で晴天が多い恵まれた天候
 2. 欧州の諸外国からの距離が近く、治安も安定し安全に旅行できる
 3. 充実したホテル群
- 観光サービスとして提供できるチャンネルは主に6点あり、それは以下の通りである。
 1. ゴルフ
 2. 自然
 3. スポーツ
 4. 文化
 5. MICE
 6. 太陽とビーチ
- ゴルフ場に関して、自治州内には24カ所のゴルフ場があり、ゴルフのプレイに特化したサービスを提供しているホテルが48軒存在する。
- 自然に関しては、ユネスコに登録されるほどの豊かな自然を残す山脈がある。

- スポーツに関しては、自転車ツーリズムに特化しており、350km に及ぶ自転車専用道路を整備した経緯がある。また、自転車ツーリストに特化したホテルが 43 軒ある。
 - マヨルカを代表する観光資源として挙げられるものは色々と挙げられるが、最も功績が大きいのは海である。バレアレス諸島を代表する島にはそれぞれマリーナを整備しており、その数はマヨルカ島 47、メノルカ島、10 イビサ島 9、フォルメンテラ島 3 となっており、合計で 69 のマリーナを擁している。これらのマリーナの船舶係留キャパシティは 2 万隻以上である。また、マヨルカ島にはブルーフラッグ（EU 圏内におけるビーチ認証制度の最高ランク）に認証されたビーチが 42 ヲ所もあり、これらが富裕層をバレアレス諸島に導く魅力となっている。
 - 2011 年の観光実績として、1231 万人の観光客がバレアレス諸島全体に訪れており、2012 年は約 3% 増程度を見込んでいる。因みに、2011 年度の国籍別滞在者の 1 位はドイツ人 360 万人であり、ドイツ人に次いで多いのがイギリス人 290 万人、3 番目が国内旅行者 230 万人という内訳である。
 - バレアレス諸島の観光に関する補足データとして挙げられるのは、以下の通りである。
 - ベッド数 419,983、レストラン数 4,523、ナイトバー 4,334、カフェ数 2,478
 - 上記の様なデータの他にも、ショパンとジョルジュサンドが生活した家が残る村や、世界遺産に登録された自然が残っており自然公園も多く存在する。統計的なデータのみならずこの様な観光資源も当自治州の強みである。
 - 当自治州の観光産業の起点はビーチと太陽であった。しかし、元来は一般大衆向けの観光商材が多かったが現状では富裕層を対象とした観光戦略に注力しており、観光商材としてもハイエンドのものを開発している。
 - その結果が大型マリーナ、高級ホテル、カジノといった形で結実しており、行政と民間企業が協調し、今でもハイエンドな観光商材の開発に取り組んでいる。
 - ハイエンドな観光商材の開発は利潤のみを追求した結果ではなく、地中海沿岸部にあるその他地域との差別化を図る手段としても高い効果が得られるという利点があると考えている。
 - マヨルカ島にてハイエンド商材を提供している多くの企業の損益分岐点はシーズン終盤である 9~10 月にある。その為、現状のオフシーズン時期となる営業である程度の観光客を迎えることができれば、それだけ利潤を拡大することが可能といえる。こういった事由から、当自治州ではオフシーズンにどうやって観光客を増やすか行動計画を検討中である。
- ※マヨルカ島のオープンシーズンは 4 月に始まり、7~8 月が最盛期を迎え、10 月を境に観光客が激減する。
- 当自治州では観光戦略を策定する際に、行政のみで全てを決定するのではなく、民間企業にも同じテーブルについてもらい、協議の基に次世代の観光戦略を策定する。
 - フットワークの軽い観光戦略をとれる最大の理由は、スペイン各州が税収を直接管理し、何に、どれだけの予算を割くか決定する権限をある程度もっている点にあり、観光に関する法案もある程度自治州の裁量で策定・公布することが可能である。

【質疑応答】

Q) インフラ整備について、生活用水・電気・ゴミ処理について受給体制を教えてください。

A) 水の問題については、ダムを設けて、水分に含まれる微量な塩分を脱塩・浄水し、一般供給している。

マヨルカ島だけで言及すれば、川が無い為、ダムを3カ所整備した経緯がある。

電気についてはイベリア半島から電気ケーブルを敷設し、スペイン本国から供給してもらっている。ゴミ処理については、焼却施設を島内に持っている為、当自治州内部で完結させている。しかし、現状のゴミ処理施設には問題がある。それはリサイクル施設の拡充に伴い、実際に排出される量を大きく上回るスペックのゴミ焼却場となってしまう、排出されるkg当たりのゴミ処理ランニングコストが非常に高額となっている点である。

Q) 現在空港近くに建設中の MICE 施設のスペックを教えてください。

A) 2,000 人規模の会議が開催可能な会議室と展示場に加えて、会議場と隣接したホテルが1棟建設中であり、当 MICE 施設の内部にはカジノの出店も政府からネルビオングループに打診している。

Q) マヨルカで MICE を誘致する為の最大の“売り”は何だとお考えか教えてください。

A) カジノや五つ星ホテルに代表される富裕層を迎え入れられる環境だと考えている。実際に、ドイツ人の富裕層が多くマヨルカ島には滞在する為、アウディやVWといった自動車メーカーがキャンペーンカーを全島で走らせて、販促PRを行った事例もある。

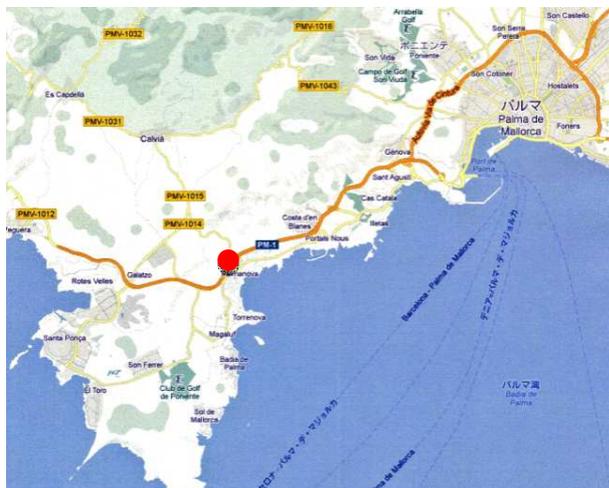
Q) マヨルカ島に比べて、沖縄県は外国人観光客比率及び富裕層観光客比率が低い為、海外からこの様な観光客を呼び込む為に必要だと考えている要素を教えてください。

A) 1960年代にリゾート開発が一斉に行われ、景観を損ねてしまった反省材料を基に、ここ10年は特に建築規制が厳しい状態にある。その為、新築件数は減少傾向にあり、その代わりに古い建築物のリノベーションが多い。

Calvia Mallorca

マヨルカ島

ネルビオングループ



■ ロケーション

- パルマ市内中心市街地から車で15分ほど、少し離れたプライベートビーチ、別荘が立ち並ぶ Calvia (カルヴィア) 観光地区に立地している。
- 海に向かって斜面地を利用した施設、エントランスからフロアを下りる形で構成されている。
- 海からのアプローチも可能。プライベートビーチも併設されている。

■規模、施設概要

- 旧カジノ施設、多目的イベント機能を活かしコンベンションセンター、エンターテインメントに特化した施設としてニューアルを計画している
- マヨルカ島には、1938年からカジノ施設が設けられていた。
- 1979年から2011年までカジノ施設として利用していたが、カジノ部門をパルマ市内中心市街地に移動してからはエンターテインメント施設として利用している。
- 敷地面積 50,000 m²、建築面積 16,000 m²、ヨーロッパ最大のイベント、ショー用のホール等4つのフロアで構成されている。
- 年末は企業等のパーティー、レストラン、ゲームホール、ショーホール利用でテーブルなしで2,000名程の収容が可能である。

■多目的ホール

- 700名収容のテーブル席、コンベンション、ファッションショー、ディナーショーなどを開催している。マヨルカ島でも大きなホールの1つとされている。
- 家族でのクリスマスパーティー、ダンスパーティーにも利用されている。
- 多目的ホールでは、様々な催しにも対応した照明機器が設置されている。
- 世界のチェスオリンピックも開催している。
- 1,700席+ブュッヘは世界大大規模（ラスベガス400席）。
- アクロバットのショーを演出することも可能、セリでは上下から噴水も出せる機能あり。
- 結婚式、ポーカーゲーム大会（スペイン、ヨーロッパ大会等）の開催されている。
- ドイツとは親交関係にあり、飛行機の直行便、船で来る客もいる。マリン施設は観光リゾート機能として重要である。

■ゲーミングフロアー（カジノ機能は移動）

- レストラン、厨房、バー等のサービス施設も充実している。
- 喫煙は室内では禁止されているため、バルコニーで仮設的に設けられている。

■社会的貢献

- 様々なイベントへの協賛等に協力している。ロータリークラブ、政府、ツアーオペレーター等からの感謝状、表彰状を貰っている。通路の展示棚に並べている。

■今後の計画

- エンターテインメント部門を重点的にセールスしていく。
- テーマレストランを充実させる。



施設正面の前景



屋外イベント



Casino Mallorca として営業していた頃のエンターテインメントイベントの様子



各団体から贈られた表彰縦等の数々



船や飛行機から認識できるように施設屋上のサイン

Casino Mallorca

マヨルカ島

ネルビオングループ



■ロケーション

- 2011 年末、パルマ市内中心市街地、ヨット係留の前の Porti Pi (ポルト・ピ) に新しい施設を開した。
- 施設は地下駐車場を含む 3 フロアで構成されている。
- ショッピングモールの施設と並んで立地している。
- 大規模なサイン類等の目立つ案内板は特に見られない。もとは映画館であったため施設そのもの

のが個性的なデザインではない。

- ドライブイン、ショッピングモール (カリフーン) の敷地内にある。駐車場は施設全体で 2,500 台。
- もとはシネマコンプレックス (3 社、7 スクリーン) を改装してカジノをオープンした。

■規模、施設概要

- 200 台の 2 時間無料駐車スペースがショッピングセンターの地下共有駐車場に設置されている。
- 1 階は 78 台の最新スロットマシンを設置
- スペイン、米国、ドイツ、オーストリア製のマシンを導入している。
- オーストリア製のマシーン (Admiral) は上等、スペイン製はマルチゲームが可能。
- チケット制で 500 ユーロまで利用できる。
- クレジット支払、ゲーム終了後チケットが出てキャッシャーで現金に換えるシステム。
- 施設内でアルコールは OK、タバコは専用スペース (ベランダ等) で喫煙する。
- リラックスして、楽しんで遊べるマシンとなっており、他人には分からないシークレット保持機能がある。
- 自動ルーレットのマシンは、テーブルルーレットと同様に遊べ配当率が自動に配当できる。バー等に配置しディーラー無しで楽しめ、世界的にヒットしている。
- ディスプレイに統計が映し出され、色で自分チップが分かるシステム。
- 他にクラシックマシン、コンビネーションマシーン、ジャックポット (配当金 1.6 億円)。
- ドイツ製のマシンは映画のレプリカ、映画キングコングのキャラクターが人気。4 段階の掛金、勝つと次のゲームへ進む。バーコードシートで別のゲームへ或いは換金する。
- カジノ利用は 2 社 (オラン、米国) のみ承認、導入している。2 度はできない、31 日以内で換金する。

■ゲームサロン

- 1 階のマシーンフロアは別のルーレットマシーン、スロットマシンが配置してある。

- 夏と冬でテーブル配置のパターンを変えている。夏は利用者が多いのでテーブル数も多く配置（170台）している。
- アラブ人にはブラックジャックが人気である。
- 10テーブルでポーカートーナメント（テキサスホールダー、ギャッシュ）も定期的で開催されている。
- ポーカートーナメントでは食事も提供している。フロアをパーテーションで区切り配膳スペースとして使用している。
- ダイスは夜遅く始まる。
- カリビアンポーカー、バカラ等は台を換えて使用している。
- スモークエリアは屋外に立って特に何も置かれていないスペース。
- 1階は3つのフロアに区分されている。
- 2階はトップクラスの利用者用に使用されている。
- クリスマス用イベントは間近になると毎日開催されている。
- バックスペースは、レストランの厨房、倉庫、従業員用休憩スペースがある。
- 従業員専用の出入口を設けており、指紋で出入りをチェックしている。

■責任あるゲーミングの考え方

- 政府機関や病的賭博の研究、予防および治療のための専門職団体と協力して、社会的責任を認識している。また、中毒性の行動における包括的なケアの目標は、それらの影響を受けた場合に更生させる、治療病的ギャンブラーとその家族に知ら導き、サポートすることである。



施設全景(ヨット係留港から)



1階スロットマシンフロアー



テーブルゲームコーナー

6) スペイン

Casino Gran Madrid

マドリッド



■ロケーション

- マドリッド市街地から北西 29km、車で 20 分程の距離、高速道路のインター付近 Torreloayón の郊外に位置する。周辺には新興住宅地が広がる。
- カジノはマドリッド市内にはなく郊外に 2 軒設置されている。
- マドリッド中心市街地から無料シャトルバスは 2～3 時間おきに運行されている。

■規模、施設概要

- Casino Gran Madrid は GranCasino 系列。
- 入場料 6 ユーロのチケットは時々マドリッドの大型ホテルによって無償で提供されている。全ての施設は、16:00 から 5:00 まで毎日営業している。
- 入場料 6 ユーロ、年齢制限 18 歳以上、ドレスコードカジュアル、ID(パスポート)必要、カジノ等すべての施設の営業時間 16:00～06:00。
- 正面エントランスを通り右側が禁煙フロア、左側が喫煙フロア
- 利用客は地元客がほとんどで、スペイン人と中国人(マドリッドには中国人が多数住んでいる)。
- ドレスコードがあり、男性はジャケットとネクタイを着用する必要がある。Tシャツとテニスシューズは、どの季節でも禁止されている。
- ルーレット主体のカジノ施設、ルーレット 8 台、Bj6 台、Poker4 台
- 11 万平方フィートのカジノは 174 台のスロットマシンと 20 台のテーブルゲームを備えている。
- 施設内には 2 つのレストランがある。(営業時間 21:15～02:00)

- フランスのゲームルームアラカルトレストランでは、ディナーは 40 ユーロから 65 ユーロで世界各国の料理を提供している。
- アメリカのゲームルームでのビュッフェは 30 ユーロ。レストランは午後 9 時 15 分オープン、午前 2 時まで営業している。
- コンベンション・会議スペース (350 席可)、コンベンション・展示ホール
- ドレスコード (ジャケット、夏を除く)、ナイトクラブ、プライベートゲームエリア
- ショールーム、トーナメント



エントランスホール(正面入口)



エントランスロビー



テーブルゲームフロアー



スポーツベッティング





屋外イベント施設



施設正面入口



2012年11月27日(火)

スペイン政府産業・エネルギー・観光省上級顧問

アルバロ・ブランコ・フォルマー氏

【関係機関ヒアリング議事録】

■ スペインの観光に関する基礎情報として

- スペイン国内に観光を推進する機関が設置されたのは約100年前に遡る。
- スペインにおける観光産業の躍進は50年程前に急激に起きた。それはドイツ、イギリス、スカンディナ비아半島の国民がスペインのマヨルカ島やカナリア諸島に観光客として訪れる様になったことを起源とする。
- それからは個人観光客として、ベルギー、オランダ、ドイツから車でスペインの東海岸を訪れるまでに市場は拡大した。現在に至っては観光客の大半が旅行代理店を利用せずに個人旅行としてスペインを滞在する様になっており、国外観光客の9割はEU圏内の国籍を有する方々であり、アジアは全体の2~3%程度である。
- スペイン観光の強みは常に“太陽”と“ビーチ”であり、それに+αを付加して観光商材を開発してきた。ここで言う+αとはガストロノミーやスポーツである。
- スペイン国内でカジノが設立されたのはフランコの死後であり、基本的にはフランコ政権下ではカジノの運営は禁止されていた。その為、カジノの文化は非常に浅く、これまで観光の目玉としてカジノを扱ったことは無い。
- また、国内には観光客を魅了するカジノが複数存在することは認識しているが、今のと

ころはカジノを統合的に活用した観光戦略を展開するといったことはできていない。

- 経済が減退している時には、カジノの存在は有効だと考えている。その理由は、カジノ利用を目的とした特別な富裕層が滞在することで、滞在期間中の消費効果が大きいからである。
- カジノとはその他の観光資源を補完することが主たる設置目的だと考えており、ユーロベガスの建設は、ホテルや会議施設を含めたテーマパークとしての存在価値が高い。

【質疑応答】

Q) スペインでは小規模なカジノが既に存在していたにも関わらず、現段階でラスベガス型の巨大カジノを国内に設置しようと政策転換をおこなった意図は何なのか教えてください。

A) 私が認識している限り、法制を変えたり、特別に税制優遇措置をとってユーロベガスを誘致した訳ではない。むしろユーロベガスの設置は、政治的な判断で設置に至ったと認識している。まず、スペインは非常に失業率が高く、ユーロベガスの設置は消費効果の増大も期待できるが、雇用の創出として期待している側面も強いことを忘れてはならない。また、市民の中には、治安の更なる悪化や、物価の上昇といった負の側面から、ユーロベガスの様な巨大なカジノを設置することに反対している方々もいる。

しかしながら、建設業界や観光業界には多大な投資と利益を呼び込むチャンスであることから、賛成している方々もいる。因みに、上記以外にも、都市整備やカジノを運営するラスベガス・サンズが訴えている様に室内喫煙許可申請（国内では閉め切った室内空間での喫煙が法で禁止されている）問題や、雇用法の整備等の問題を抱えている。私自身がカジノの専門家では無いことから、申し訳ないがこれ以上の言及は難しい。

Q) ユーロベガスの誘致はスペイン中央政府によるものなのか、それとも州政府によるものなのか教えてください。

A) 基本的には州政府が観光戦略の一部として誘致を決定した政策に対し、中央政府は若干の援助をした程度である。今回の巨大カジノもマドリッド州とカタルーニャ州が考案した観光戦略であり、中央政府はインフラ整備等の手伝いをしただけに過ぎない。

話は少し脱線するが、スペイン国内には色々と問題があり、未だに赤字を垂れ流しているテーマパークが数多く存在することから、長期的な視野をもってテーマパークを運営できるか不明瞭である。

Q) カジノの存在による勤労意欲の低下や依存症対策等に関して、具体的に現時点で検討されている対策があれば教えてください。

A) カジノの専門家ではないので、詳細部分に言及できないが以下は私の意見である。

まず、若年層の高い失業率は解決が急務であり、カジノの設置による当問題の解決はある程度明ると考えている。しかしながら、カジノの設置による売春やギャンブル依存症の発症は、巨大カジノが無くても十分に起きえる問題であり、これらの問題が起きない可能性だって否定しきれない。その為、問題が発生することを前提に当件の巨大カジノ構想を論じることはナンセンスだと考える。国が補助すべき役割は法整備といったテクニカルな部分に限定すべきだと思う。

Q) もし、マヨルカ島の様に豊かな自然と独特の文化をもっていながらカジノを今まで持

ってこなかった島があったと仮定して、今まで以上の観光産業の成功を望み、既存客が所望する内容とは異なるカジノ設置に観光戦略をとるとしたら、約 30 年間観光戦略に携わった方の考えとして、個人的な意見で構わないので賛否をお伺いしたい。

A) 経済振興によりマヨルカに残っていた伝統的な文化が失われつつあることは確かに認めざるをえない。しかし、それはカジノによるものではなく、個人的には経済性と伝統を重んじる精神性の2面性があっても良いと思う。要は観光産業を生業としている方々が、古い伝統文化を大事にしつつ、カジノを含む IR 等の施設誘致ができる環境が大切だと考える。しかし、忘れてはならないのは、観光客の中には、IR 施設さえあれば、伝統や文化は不要だと考えている方々もいるという点である。現に、マヨルカ島に住んでいるドイツ人の中には、ドイツ人同士でしか関わりを持たないという現代のゲットーを設けている方々も多くいる。

もし、沖縄にもカジノができるとしたならば、カジノ内部でも沖縄の方々が誇りをもって働ける様な仕組みが望ましい。

Q) カジノを含む IR は税金を投入せずに、MICE 施設を整備することが可能であり、建設業界や観光業界も潤う上に、MICE 利用客の多くは可処分所得が高い方々であることから、消費効果も大きい為、一部にカジノはあるもののツーリズムの成功には IR が必要だとユーロベガスの運営主体となるラスベガス・サンズの社長は言っているが、スペインにおいてもこの意見は当てはまるとお考えか教えて頂きたい。

A) この意見には一理あるが、ラスベガス・サンズとしては自社プロジェクトの成功が主目的であることが明白であり、そういった部分を勘案すると何とも意見は言えない。

2012年11月27日(火)

スペイン政府観光省観光省通商担当副大臣

ミゲル・ノンベラ・ロペス氏

【関係機関ヒアリング議事録】

■スペインの観光に関する基礎情報として

- スペインの観光戦略を全て中央政府がコントロールしているということは無く、地方政府の観光戦略が動き易くなる様に、中央政府はサポートをしているに過ぎない。例えば、ホテルの格付け等は、各地方自治体に一任しており、現状目にする星の数は、滞在する地方自治体によってレギュレーションが異なる。
- 外国に対する観光プロモートも先述の観点と同様であり、各地方自治体が自由にできる体制にしてある。中央政府が動くのは国対国の様な大きな観光プロモートの時だけである。大きな観光プロモートの一部には輸出の目玉となるワインの格付けやサンティアゴ巡礼のルート設定等が挙げられる。
- 地方自治体が容易に観光戦略を策定・実施できる様な環境を整備するという取組みとして、観光対策費用に低利で貸付を行うといったことが挙げられる。また、観光局のオフィスが世界 33 カ国に存在する為、大使館以外でもオフィスを持ちたいといった地方自治体があれば、スペースの貸出等も行っている。
- 2012年6月に各地方自治体の観光プランをまとめたスペイン観光統合プランを作成した。

- スペインの観光における数値データとして、過去最高人数として 5600 万人の観光客を受け入れたという実績があり、観光収入高は世界第 2 位を誇る。因みに、昨年度は約 5200 万人の観光客がスペインを訪れている。

【質疑事項】

Q) 沖縄県の観光産業は国内需要がほとんどであり、今後は外国人観光客を増やしたいと考えている為、参考としてスペイン中央政府が具体的に外国人観光客を増やす為に行った観光施策を教えてください。

A) 外国人観光客を増やす為の観光施策として 104 つの観光戦略プランを作成した。具体的な事例を数点挙げると以下の通りである。

1. ビザ発給を手續期間の短縮化
2. スペインをより楽しんでもらう為に体験型ツアーパッケージを整備・拡充
3. 民間の観光に携わる企業と歩調を合わせる
4. スペインというブランド力を高める
5. スペイン観光のリピート率を高める様な還元率の高いポイントカードの導入
6. 空港の夜間発着料金の値下げ

上記以外にも約 100 の観光戦略プランを 2012～2015 年の 3 年間で実施すべく策定している。

Q) 今日本は観光産業に注力しようと観光省を立ち上げたところであり、目先の目標は観光インバウンドを 2020 年迄に現状の 700 万人から 2000 万人に増やすことと、観光消費金額を増やす為、ラグジュアリーツーリズムを展開したいと考えている。また、沖縄では海洋リゾートが世界に認知される為にはどのような施策が適当なのか検討中である。

上記 3 点を踏まえて、観光立国の先輩として、観光インバウンドを増やし、ラグジュアリーツーリズムが成功し、沖縄県の海洋リゾートが世界的に認められる為のヒントを頂きたい。

A) スペイン観光省はイギリスやドイツの旅行代理店と組んで、スペイン観光を PR する為のパッケージツアーの宣伝を行ったりして、観光インバウンド推進を図った。

スペイン政府は第 3 国との情報交換を行っている為、観光省の長官と友人なのであれば、ご質問の詳細部分に関する情報及びノウハウを提供するので、観光省から問合せ願いたい。

Q) 沖縄の今後の観光政策としてマヨルカ島を初めとするバレアレス諸島の観光戦略が非常に参考になると実感したのだが、バレアレス諸島で実践されているクルーズツーリズム等を優良な観光客を誘致する手段として自治州の後押しをスペイン政府は行っているのか現状を教えてください。

A) クルーズ船による観光客は大変優良な観光客を誘致しているとスペイン政府も認識していることから、各自治州が観光戦略で当件について後押しが欲しいという要望があれば、援助は惜しまない。

クルーズ船による観光客を誘致を望むのはバレアレス諸島だけでなく、バルセロナやバレンシア、アンダルシア地方も観光戦略の一部に組み込んでいることから、クルーズ船による観光客は優良だと明言できる。

Q) マドリッド自治州がユーロベガスを誘致するに当たって、社会的コストは解消できるという認識から、中央政府は側面的支援をマドリッド自治州に行っているという認識でよろしいか。

A) ネガティブな部分が全て解決したから誘致に賛同した訳ではなく、社会的コストは発生するか否かも不明であるのに対し、ユーロベガスがマドリッド周辺にもたらす経済効果は明瞭である為、この部分を政治的に選択したという判断が正しい認識である。

7)モナコ

■モナコ

公用語	フランス語
首都	モンテカルロ
面積	1.95km ² (194位)
人口	32,270人 (189位)
独立	1297年1月8日



■モナコ公国

通称モナコは、西ヨーロッパの立憲君主制国家。都市国家であり、首都モナコ市がそのまま全領土となる、世界で2番目に小さいミニ国家で、国連加盟国の中では世界最小である。フランスの地中海沿岸地方コート・ダジュールのイタリアとの国境近くに位置する。カジノやF1モナコグランプリ、WRC・ラリー・モンテカルロが開催されることで知られる。

■歴史

モナコという地名は、現在のモナコの近隣に6世紀にあったポカイア人の入植地の名に

由来する。その地はギリシャ語で「一軒家」を意味する **Monoikos** と呼ばれていた。ギリシア神話では、ヘラクレスが現在のモナコの地を通りかかり土地の神々を退散させたとあり、それに因んで1つの神殿が作られた。その1つの神殿が「一軒家」に転じ、地名が生じた。

神聖ローマ帝国のハインリヒ6世から1191年にこの土地を与えられたジェノヴァ共和国は、1228年に今日のモナコを建設した。1297年、ギベリン（皇帝派）に占領されていたモナコの要塞に、フランシスコ会の修道士姿に変装し、法衣の下に武装して侵入したフランソワ・グリマルディらは、要塞の占拠に成功した。グリマルディは、現在のモナコ公家であるグリマルディ家の始祖である。

そのため、フランソワ・グリマルディは、「狡猾な男」と渾名される。1419年、グリマルディ家はアラゴン王国からモナコを購入し正式な支配者となる。princeの称号を自称し始めたのは1612年。オノレ2世の時代にはフランス王ルイ13世の保護下に入ることでスペインの支配を抜け出し、歴代のモナコ公は独立君主であると同時にフランス王の臣下（ヴァレンティノワ公爵）として宮廷で高い地位を占めた。しかし、1793年にはフランス革命軍がモナコを占領、公国はフランスに編入される。ナポレオン・ボナパルトの時代になっても事態は変わらず公国が再建される1814年までフランスの直接支配が続いた。

1815年のウィーン会議の結果、モナコはイタリアのサルデーニャ王国の保護下に入る。1860年のトリノ条約で、サルデーニャは、イタリア統一運動をフランスに支援してもらう代償として、サヴォイアとニースをフランスに割譲する。モナコ公の課す重税に倦み、サルデーニャへの併合を希望するマントンとロクブリュヌは、モナコからの独立を宣言する。シャルル3世は、1861年に、領土の95%にあたるマントンとロクブリュヌをフランスに売却し、見返りにモナコ公国の主権を回復した。

1911年、憲法を制定、立憲君主制となるも、モナコ大公は依然として絶対君主として振る舞い、アルバート1世はすぐに憲法を停止した。1918年、ヴェルサイユ条約に絡んで「フランス・モナコ保護友好条約」を締結。フランスの保護下に入り保護国となった。

1922年、モナコ大公にルイ2世が即位。ルイは第一次世界大戦が勃発するとフランス陸軍に志願、軍功をあげ将軍に上り詰める一方で、第一次世界大戦後はモナコを文化・観光都市にする試みを続け、モナコグランプリの開催、ASモナコの創設などを行った。

1943年、イタリア軍がモナコを占領。ファシスト政権を樹立。直後にベニート・ムッソリーニの政権が崩壊すると、今度はナチス・ドイツのドイツ国防軍がモナコを占領、モナコでもユダヤ人迫害を行う。

ルイが1949年に死去すると孫のレーニエ3世が即位。1956年にはハリウッド女優のグレース・ケリーと結婚、世界中の注目を集める。1962年に新憲法を制定。この憲法で死刑が廃止され、女性参政権が実現。同時に最高裁判所も誕生した。1993年、国際連合に加盟。

2005年4月6日、レーニエ3世死去。息子のアルベール2世が即位した。同年12月、フランス・モナコ友好協力条約を締結。この条約は、グリマルディ家に跡継ぎがなくなっても公国は将来も存続することをフランスが保証する代わりに、モナコの防衛は今後もフランス軍が行うことを骨子としている。またモナコの自主的外交における制限が緩和され、外国と国交を結ぶ際のフランスによる事前同意が不要になった

■地理

モナコは、周囲をフランス（プロヴァンス＝アルプ＝コート・ダジュール地域圏のアルプ＝マリティーム県）に囲まれた国であり、もう一方は地中海に面している。旧市街地と新市街地があり、世界的に見ても人口密度が高い。平地の面積は極端に少なく、少ない平地を山と海に挟まれたような形になっている。モナコ公園がある。

■経済

モナコの人口は3万人余りであるが、2009年のGDPは69億1900万ドル。また、2008年または2009年の1人当たり国民総所得は18万3150ドルで、世界銀行によれば、統計のある国連加盟国・非自治地域中トップである。

主要な産業は観光。特にカジノは、19世紀の一時期は国家収入の9割を占めていたこともある。なお、現在では5%以下であり、経営も半官半民の企業「ソシエテ・デ・バン・ド・メール」（海水浴公社）へ移管されている。

モナコはタックス・ヘイヴンのひとつとして知られており、（租税条約が結ばれている）他国からの移住者の多くは億万長者である。2011年3月には、英国のシンクタンクにより、世界第51位の金融センターと評価されている。

■工業

産業として存在しない農業・林業・鉱業、国内市場向けの漁業・畜産業と比較すると、モナコの工業はモナコ経済にとって重要である。化粧品製造が産業として確立しているため、周辺産業としてガラス加工、香水、化学薬品の製造が行われている。

■交通

モナコ国内の鉄道は、モナコ政府ではなく、フランス国鉄（SNCF）が運営する。マルセイユ～ニース～モンテカルロ～マントン～ヴェンティミーリア（イタリア）間の路線の一部を成している。モナコ国内の鉄道路線は約1.7kmである。

1867年にモンテカルロ駅が開業した。当初は地上に鉄道の線路が敷かれていたが、狭隘な土地の有効活用の目的もあり、1958年～1964年にかけて、モンテカルロ駅から東の区間を地下化した。その後1993年～1999年にかけて、モンテカルロ駅の移転・地下化と、モンテカルロ駅から西の区間を地下化した。これにより、モナコ国内の鉄道は、ほぼ全区間が地下線となっている。

モナコは欧州連合の加盟国ではないが、フランスとの通商関係が緊密で、通貨もフランスと同じユーロを使用している。2002年以前はモナコも独自のフラン硬貨「モネガスク・フラン」を鋳造していた。現在も、各国が自由にデザインできる硬貨の裏面をモナコ独自のデザインにした独自のユーロ硬貨を製造する権利を有している。

■タックス・ヘイヴン

モナコは個人居住者に対して所得税を課していない（1957年以降に移住したフランス国籍者は例外として税金をフランス政府に納める。これがフランスが併合を強要しない主な理由である）。所得税がないため、モナコ国外からほとんどの収入を得ている富裕者の多く

がこの国にやってくる。F1ドライバーなどの有名人も多いが、その多くは実業家である。2000年のフランス国会議員の報告で、モナコはカジノを含め、資金洗浄に対し監視が甘い政策で、モナコ政府による圧力があり司法当局が疑惑に対して適切に調査していないという疑いが報告された。

■国民

住民は外国籍者（フランス国籍 47%、イタリア国籍 16%、その他 21%）84%である。モナコ国籍者は 16%である。なお、モナコの国籍法は 1992 年に改正された。モナコ国籍をもつ母親が実子にモナコ国籍を与えることができる。移民が市民権を取得するためには、申請後 10 年単位の期間を要する。モナコ国籍の人は、カジノを禁止されている。

■言語

言語は公用語がフランス語で、その他モナコ語、英語、イタリア語などが使われる。

■宗教

宗教はローマ・カトリックが 90%である。

■スポーツ

詳細は「モナコのスポーツ」を参照

フォーミュラ 1 のモナコグランプリや、WRC のラリー・モンテカルロなど、モータースポーツの世界選手権大会が開催される。

AS モナコ・フランスサッカーリーグのリーグ・ドゥ所属で、同国リーグでは強豪チームの一つであった。2003-2004 シーズンには UEFA チャンピオンズリーグで準優勝の成績を修めた。ホームスタジアムのスタッド・ルイ・ドゥは、フォン・ヴェユエユ地区にある。

ヘラクレス・1987 年設立の陸上競技大会、会場はスタッド・ルイ・ドゥ。2010 年以降 IAAF ダイヤモンドリーグの 1 大会として開催されている。

2012 年 11 月 28 日(水)

モンテカルロ SBM 社マーケティングディレクター・セールス & マーケティング商業副社長

アクセル・オブノ氏

【関係機関ヒアリング議事録】

■モナコソシエテデバンドメール社について

SBM (SOCIETE DES BAINS DE MER MONTE CARLO)

- 世界で 2 番目の小国でありながら、モナコ内の 4 軒のカジノ、夏場だけのカジノを入れれば 5 軒のカジノ経営、レストラン、ゴルフ場、テニスコート、プライベートビーチ、オペラ劇場、タラソセラピー、高級ディスコ、ライブショー、スポーツ、文化、娯楽等様々な活動に携わっている。従業員 3,000 人超、70% 国家公務員。数々の設備投資、海外投資も積極的に計画している。

■モナコ公国及び国内カジノの基礎情報についての説明

- カジノの歴史はモナコ公国内ではとても古く、文化を形成する一部となっている。
- 1860年頃のモナコは、オリーブ栽培や漁港しかなく、観光客の多くはニースやカンヌに集約されていた。その当時、カジノの運営がフランス国内で禁止だった為、モナコ国王であるシャルル3世はモナコにカジノを設けて、観光客を誘致しようと考えたのが、モナコにおけるカジノの始まりである。しかしながら、カジノを運営するノウハウをモナコはもっていなかったことから、オーストリアでカジノを運営していたフランソワ・ブランを招聘し、自分の好きな様にカジノを作らせたところから、次第に芸術や文化に興味を持っている富裕層を対象としたリゾート観光地として発展した。
- 富裕層の中でも、カジノ等のギャンブルに興味が無い人が大半であり、そういった方々も楽しんでもらえる様に芸術や文化振興に注力する様になり、オペラやオーケストラを用いた芸術音楽がモナコで開花した。現在はこれらから更に発展し、Jazz フェス、スポーツとしてのF1誘致や乗馬競技の開催が行われている。
- シャルル3世はフランソワ・ブランにカジノ事業を独占して良い代わりに、以下の2点を条件として課した。
 1. カジノ事業を行うことで雇用を大量に創出すること
 2. カジノの収益で色々な芸術・文化活動に対してスポンサートを行うこと
- この2点は、沖縄県にカジノを誘致する際に有効な開発コンセプトになると思う。
- カジノが創設された当初は、カジノによる収益金が国家予算の80~90%を占めていたが、今ではカジノから派生した各事業分野の規模が大きくなったことにより、現在のカジノ収益が占める国家予算の割合は僅か3%程度である。因みに、観光収益全体が国家予算に占める割合は15%である。
- モナコ国内にはプラスチック工場があり、自動車部品の一部を製造している。この様な工場においても、景観形成には配慮が必要であり、工場の建築許可を得る為にも、ある程度の景観基準をクリアしなければならない。
- SBMが最も苦慮していることは、シーズンによって、顧客層が異なる点であり、シーズン別顧客層は以下の通りである。
 - 4~6月 : 上流階級
 - 7~8月 : 最上流階級
 - 9~10月 : 上流及び中流階級
 - 11~3月 : ビジネス客及び中流階級
 11月は最も静かな時期であり、11月の1ヶ月間で動く金額とF1開催時の4日間で動く金額はほぼ同額である。
- SBMが心がけていることは、特定の国籍が大量に観光客として訪れるのではなく、偏りなく色々な国の方々に滞在してもらおうということである。今まではイタリア人の観光客が非常に多く、多い時では観光客の50%を占めていたが、現在は20%程度である。イタリア人に次いで多いのが、ロシアと中近東の国々の方々に、それぞれ15%ずつを占めている。因みに、アジアからの観光客は5%を下回っており、特に日本人観光客は少ない。
- カジノ室内での喫煙を全面的に禁止とした結果、カジノ来場者は20%も減った。対応

策として、喫煙可能なテラス席にスロットマシンを設置する等の取組みを実施した。

- 現在モナコ公国内にカジノは全てで 5 ヶ所存在する。

【質疑応答】

Q) 今までに SBM がモナコ国外にてカジノ展開を積極的に行ってこなかった事由と、今後海外展開を考えているのか教えて頂きたい。

A) モナコ国内を反映させることを前提にこれまでカジノを運営してきた為、大きな海外展開は行ってこなかった。しかし、例外的にアブダビにてモンテカルロビーチという SBM 直営の施設を運営しており、当施設はうまくいっている。

アメリカにも 3%ほど融資していた施設があったが、現在は 1%まで融資額を引き下げている。

SBM の基本的なスタンスとして、ビジネスとして旨味のある話があれば海外進出を検討するが、自ら積極的に海外市場に乗り込むといった考えはもっていない。

Monte Carlo Casino

モナコ

SBM 社



■ロケーション

- カジノ広場を前面にフランスの建築家シャルル・ガルニエの設計した華麗な Monte Carlo Casino が鎮座している。
- 1853年に建てられた Monte Carlo Casino は 28本のオニックスの柱に囲まれたアトリウムを取り巻いています。奥には赤と金色に飾られたイタリア風劇場のサル・ガルニエがあり、パリのオペラ座の再現と評されている。
- カジノ広場の周辺では、有名なブティック、宝石店、オートクチュールブティック、骨董店などデラックスな店舗が軒を連ねている。
- カジノの庭園やテラスを出ると、色々な品種の植物や花などのよく手入れされた花壇が来訪者を迎え入れてくれる演出が細部まで施され

ている。

- 海岸に下りると超近代的なイベントホール国際会議センターのグリマルディフォーラムがあり、国立人形博物館や日本庭園が見られる。
- カジノの庭園や周辺地区の緑地帯に飛来する鳥(カラス等)を追い払う擬音がスピーカーから流れ来訪者や動物にも気を配る取組みを行っている。
- カジノ広場は SBM 社が所有し有料でのイベント貸出も行っており、シーズンを彩る風物詩にもなっている。

■規模、施設概要

- 制限された期間中を除き、9:00 から 14:30 までにカジノ施設を訪問することができる。
- 14:00 から開始のゲームルームへの無料アクセスサービスを提供している。
- ドレスコードあり、20:00～ジャケットが必要である。
- 入場制限は 18 歳以上、入場料 10 ユーロ、ID カードやパスポートの提示を義務付けている。
- モンテカルロのカジノは歴史的な建造物であるとともに博物館としての地位があるカジノである。
- この施設、150 年の歴史を誇る荘厳な建築空間を活用した文化的で様々なイベントにも提供されている。
- さらに、カジノ利用に関しては安全性、自由度、快適性に関して高い評価を得ている。
- SBM 社では、伝説的なカジノの雰囲気を経験したいグループツアーでの訪問者を受け入れている。
- 主なゲームはサロンでのさまざまな種類のルーレット、スタッドポーカー、ブラックジャック、バカラ、ビデオポーカー、スロットマシン等である。
- 年間をとおして各シーズンには美しいスペクタクル（映画や演劇などの豪華・壮大な見せ場）が演じられている。また、スタンドグラス、彫刻、貴重な寓話画などの装飾のゲーム室がある。
- 一般客のカジノ見学は 35 分から 40 分のサービスが提供されている。
- カジノ施設は建設当時のデザイン、調度品、建築空間としてのオリジナリティーを尊重し、復元修復を繰り返して保存整備している。



モナコ前景





市街地に建つ複合施設(低層階は商業施設、高層階は住居)



海側の景観(ヨットハーバー、背後の施設群)



ライトアップされた Monte Carlo Casino



当時の内装を保全修復カジノ施設内の装飾美



施設前の庭園(様々なイベントも開催される)